

消防年報

平成25年版



救助工作車 II 型

(本署に配置 平成26年3月13日より運用開始)

宮崎県東児湯消防組合
(平成26年刊行)

はじめに

この年報は、宮崎県東児湯消防組合の現勢と平成25年中における消防活動の実態を統計的に収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介し、理解と協力を得ることを目的に編集したものです。

なお、この資料中、火災、救急、救助に関する統計は暦年、予算に関する事項は会計年度で作成し、それ以外の事項については、必要に応じ当該表にそれぞれ年月日を表示しています。

この年報が、火災等の災害を予防するための資料として、少しでもお役にたてば幸いです。

平成26年7月

宮崎県東児湯消防組合消防本部

目 次

第 1	総 括	
1	宮崎県東児湯消防組合の位置と地勢	1
2	面積・人口	2
第 2	総 務	
1	宮崎県東児湯消防組合の組織	3
2	位置と現勢	4
3	歴代消防組合議会議長	5
4	歴代消防組合管理者	6
5	歴代消防長	7
6	事務分掌	8～12
7	平成25年度歳入歳出決算	13
8	平成25年度構成町別負担金	13
9	平成26年度当初予算	14
10	職員の階級別年齢	15
11	職員の階級別配置状況	15
12	職員の勤務年数	16
13	職員の教養修了状況	16
第 3	警防・通信	
1	消防力の配置状況	17
2	消防用車両の状況	18
3	特殊資機材の現有状況	19
4	通信施設概要	20
5	消防水利の現況	20
6	緊急通報の受信状況	21
7	消防緊急通信指令システム構成図	22
第 4	予 防	
1	防火対象物数（延べ面積150㎡以上）	23
2	防火管理者選任状況	24
3	中高層建築物（3階以上）の状況	25
4	査察実施状況	26
5	建築同意用途別件数	27
6	建築同意工事種別件数	28
7	防火管理者資格講習会受講状況	29

8	予防関係届出等件数	29
9	幼年・少年・婦人防火クラブ結成状況	30
10	危険物施設設置状況	31
11	危険物数量別・類別施設数	32
12	危険物規制事務処理状況	33
13	危険物手数料徴収状況	34
第 5	火災・救急・救助統計	
1	平成25年中の火災状況	
(1)	火災の発生状況	35
(2)	火災発生件数の推移	36
(3)	構成町別火災発生状況	37
(4)	月別火災発生状況	38
(5)	曜日別火災発生状況	38
(6)	時間帯別火災発生状況	39
(7)	火災損害額の推移	39
(8)	原因別火災発生状況	40
(9)	現場到着所要時間の状況	40
2	平成25年中の救急業務状況	
(1)	救急業務状況	41
(2)	救急出場件数及び搬送人員の推移	42
(3)	構成町別の事故種別救急出場件数	43
(4)	月別救急出場件数の状況	44
(5)	曜日別救急出場件数の状況	44
(6)	現場到着所要時間の状況	45
(7)	現場到着所要時間の推移	45
(8)	傷病程度別搬送人員の状況	46
(9)	覚知時間帯別救急出場件数	46
(10)	医療機関別搬送人員の状況	47
(11)	医師の所見別搬送人員の状況	47
(12)	年齢別搬送人員の状況	48
(13)	診療科目別搬送人員の状況	48
3	平成25年中の救助業務状況	
(1)	救助業務状況	49
(2)	構成町別救助業務状況	50

第 6	消 防 団	
1	現勢	51
2	階級別状況	51
3	階級別報酬額状況	52
4	出場手当等	52
5	年齢別人員状況	52
6	勤続年数状況	53
7	出場状況	53
8	消防団幹部・担当者名	54
9	消防協会東児湯支部役員名	54
資 料	消防組合の沿革	55～64

第1 総括



資機材搬送車

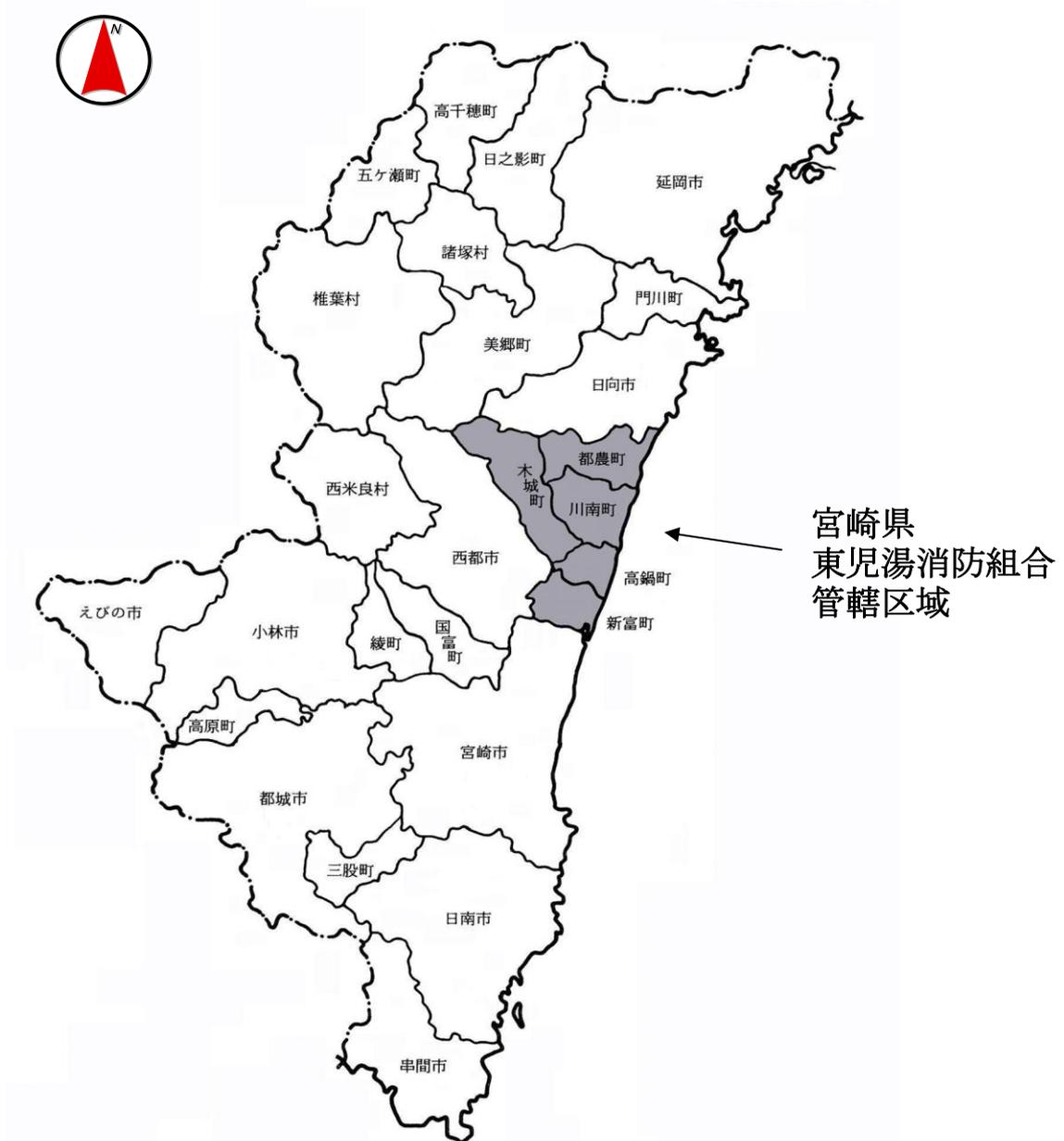
(本署に配置 平成25年10月31日より運用開始)

「助かった 付けてて良かった 警報器」

新富町婦人防火クラブ 久木元 眞希江 作

1 宮崎県東児湯消防組合の位置と地勢

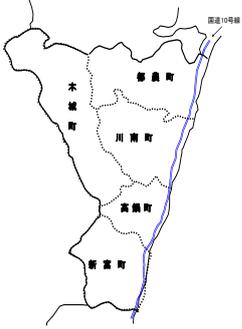
宮崎県



当消防組合は、宮崎県のほぼ中央部に位置し、北西に尾鈴の山々を眺め、南に新田原大地に航空自衛隊新田原飛行場があり、名貫川、小丸川、一ツ瀬川の三清流が黒潮おどる太平洋に注ぎ豊かな農林水産物を産する風光明媚な田園地帯である。

2 面積・人口

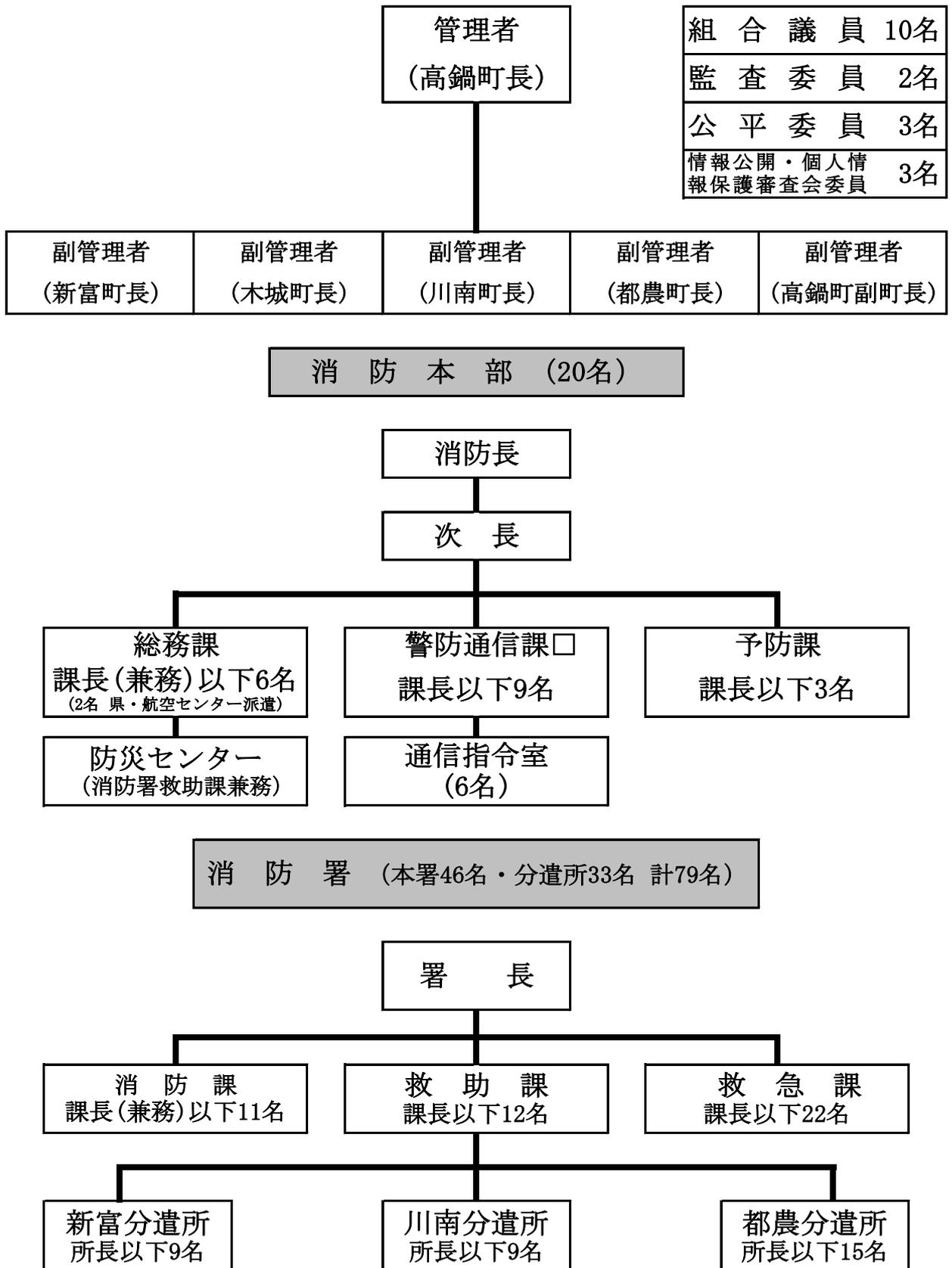
(平成26年4月1日現在)

区分	面積 (Km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/Km ²)	世帯数 (戸)
全体	 444.25	 71,287	 160.5	 27,512
高鍋町	43.92	21,533	490.3	8,863
新富町	61.70	17,612	285.4	6,515
木城町	146.02	5,154	35.3	1,982
川南町	90.28	16,444	182.1	6,117
都農町	102.33	10,544	103.0	4,035

(宮崎県の推計人口より)

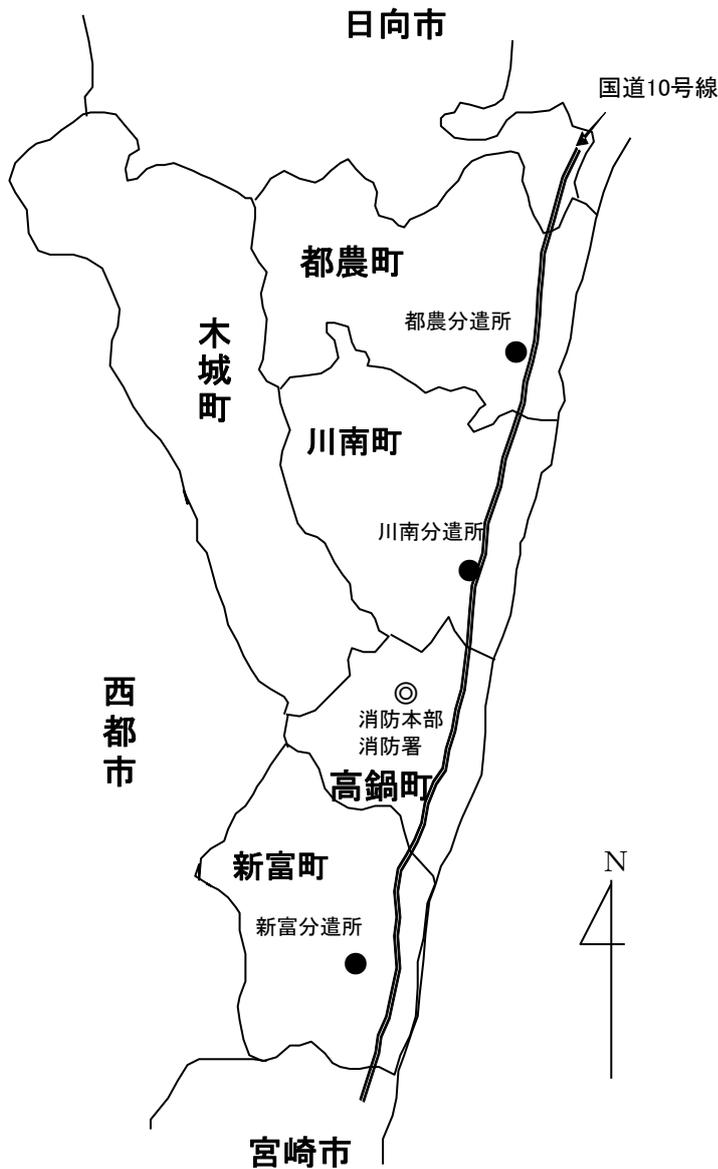
1 宮崎県東児湯消防組合の組織

(平成26年4月 1 日現在)



2 位置と現勢

(平成26年4月7日現在)



消防本部

消 防 職 員	20名
指令車・防火広報車等	5台

消防署 (本署)

消 防 職 員	46名
指 揮 車	1台
水槽付ポンプ自動車	1台
小型動力ポンプ付水槽車	1台
救助工作車Ⅱ型	1台
高規格救急車	2台
資機材搬送車	2台
指揮支援車	1台
起 震 車	1台
非常用水槽付ポンプ自動車	1台
非常用高規格救急車	1台

新富分遣所

消 防 職 員	9名
水槽付ポンプ自動車	1台
高規格救急車	1台

川南分遣所

消 防 職 員	9名
水槽付ポンプ自動車	1台
高規格救急車	1台

都農分遣所

消 防 職 員	15名
水槽付ポンプ自動車	1台
高規格救急車	1台

所在地	
消防本部 消防署(本署)	〒 884-0006 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江4526番地 電話 (代)0983-22-1360 FAX 0983-23-2312、22-1370
新富分遣所	〒 889-1403 宮崎県児湯郡新富町大字上富田6247番地3 電話 (代)0983-33-1019 FAX 0983-33-1019
川南分遣所	〒 889-1302 宮崎県児湯郡川南町大字平田1407番地39 電話 (代)0983-27-0578 FAX 0983-27-0578
都農分遣所	〒 889-1201 宮崎県児湯郡都農町大字川北5434番地1 電話 (代)0983-25-0698 FAX 0983-25-0698

3 歴代消防組合議会議長

(平成26年4月1日現在)

歴代	氏名	在職期間	備考
初	黒木 新次	自 昭和45年 7月 至 昭和46年 5月	都農町議会議長
2	谷崎 清彦	自 昭和46年 5月 至 昭和50年 5月	新富町議会議長
3	小嶋 進	自 昭和50年 5月 至 昭和52年 7月	川南町議会議長
4	新名喜 一郎	自 昭和52年 7月 至 昭和53年 5月	都農町議会議長
5	谷崎 清彦	自 昭和53年 5月 至 昭和54年 5月	新富町議会議長
6	押川 千秋	自 昭和54年 7月 至 昭和56年 7月	川南町議会議長
7	岩下 好	自 昭和56年 7月 至 昭和59年 12月	高鍋町議会議長
8	中村 甚吉	自 昭和59年 12月 至 昭和60年 4月	木城町議会議長
9	太田 直満	自 昭和60年 6月 至 昭和62年 5月	新富町議会議長
10	黒木 論	自 昭和62年 6月 至 平成元年 7月	川南町議会議長
11	河野 忠徳	自 平成元年 7月 至 平成3年 4月	都農町議会議長
12	佐々木 元	自 平成3年 6月 至 平成5年 5月	木城町議会議長
13	大坪 一洋	自 平成5年 5月 至 平成7年 4月	新富町議会議長
14	日高 俊	自 平成7年 7月 至 平成8年 12月	高鍋町議会議長
15	篠原 則尚	自 平成8年 12月 至 平成9年 8月	高鍋町議会議長
16	杉尾 守美	自 平成9年 8月 至 平成11年 6月	川南町議会議長
17	海野 靖	自 平成11年 7月 至 平成13年 6月	都農町議会議長
18	倉永 節雄	自 平成13年 7月 至 平成15年 6月	木城町議会議長
19	倉永 公交	自 平成15年 7月 至 平成17年 6月	新富町議会議長
20	柏木 忠典	自 平成17年 7月 至 平成18年 12月	高鍋町議会議長
21	水町 茂	自 平成18年 12月 至 平成19年 7月	高鍋町議会議長
22	中竹 義一	自 平成19年 7月 至 平成21年 4月	木城町議会議長
23	川越 忠明	自 平成21年 6月 至 平成23年 7月	川南町議会議長
24	多田 久	自 平成23年 7月 至 平成25年 4月	都農町議会議長
25	長濱 博	自 平成25年 6月	新富町議会議長

4 歴代消防組合管理者

(平成26年4月1日現在)

歴代	氏名	在職期間	備考
初	岩村 一郎	自 昭和45年 7月23日 至 昭和53年 1月24日	高鍋町長
2	渋谷 清明	自 昭和53年 3月10日 至 昭和57年 3月 4日	高鍋町長
3	吉本 盛光	自 昭和57年 3月 8日 至 昭和61年 3月 4日	高鍋町長
4	白杵 直孝	自 昭和61年 3月 7日 至 平成 5年 4月17日	高鍋町長
5	黒木 傳	自 平成 5年 4月18日 至 平成 7年 6月30日	木城町長
6	河野 寛一	自 平成 7年 7月 1日 至 平成 9年 6月30日	川南町長
7	河野 通継	自 平成 9年 7月 1日 至 平成11年 6月30日	都農町長
8	太田 直満	自 平成11年 7月 1日 至 平成13年 6月30日	新富町長
9	吉本 光朗	自 平成13年 7月 1日 至 平成15年 6月30日	高鍋町長
10	田口 晃史	自 平成15年 7月 1日 至 平成17年 6月30日	木城町長
11	内野宮 正英	自 平成17年 7月 1日 至 平成20年 3月31日	川南町長
12	河野 正和	自 平成20年 4月 1日 至 平成22年 3月31日	都農町長
13	土屋 良文	自 平成22年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	新富町長
14	小澤 浩一	自 平成24年 4月 1日	高鍋町長

5 歴代消防長

(平成26年4月1日現在)

歴代	氏名	在職期間	備考
初	丸田 元一	自 昭和45年10月14日 至 昭和52年12月23日	在職 7年 2月
2	児玉 実秀	自 昭和53年 4月 1日 至 昭和58年 4月30日	在職 5年 1月
3	河野 信夫	自 昭和58年 6月 1日 至 昭和62年 5月 9日	在職 3年 11月
4	河野 義雄	自 昭和62年 5月10日 至 平成 2年 3月31日	在職 2年 11月
5	河野 信夫	自 平成 2年 4月 1日 至 平成 5年 1月17日	在職 2年 9月
6	稲田 三千男	自 平成 6年 4月 1日 至 平成 8年 3月31日	在職 2年 0月
7	谷口 数雄	自 平成 8年 4月 1日 至 平成10年 3月31日	在職 2年 0月
8	清藤 猛	自 平成10年 4月 1日 至 平成12年 3月13日	在職 2年 0月
9	金丸 弘	自 平成12年 3月14日 至 平成14年 3月17日	在職 2年 0月
10	小野 学	自 平成14年 3月18日 至 平成16年 3月31日	在職 2年 0月
11	山内 義行	自 平成16年 4月 1日 至 平成23年 3月31日	在職 7年 0月
12	村田 龍男	自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	在職 1年 0月
13	佐藤 修三	自 平成24年 4月 1日 至 平成26年 3月31日	在職 2年 0月
14	橋 重文	自 平成26年 4月 1日	

6 事務分掌

(平成26年4月1日現在)

総務課

庶務係

- 1 総務関係及び他に属しない文書の収発、編さん及び保存並びに文書事務の指導に関する事。
- 2 条例、規則、その他諸規程等の制定及び改廃の手續並びに整理に関する事。
- 3 組合議会の議事案等の作成その他議事運営及び議会議事録に関する事。
- 4 監査委員及び公平委員に関する事。
- 5 公印の管守に関する事。
- 6 人事、給与及び組織に関する事。
- 7 職員の福利厚生及び健康に関する事。
- 8 勤務時間その他勤務条件に関する事。
- 9 公務災害補償及び賞じゅつに関する事。
- 10 全国消防長会等との連絡調整に関する事。
- 11 儀式及び諸会議並びに渉外に関する事。
- 12 共済組合、総合事務組合及び町村会事務に関する事。
- 13 消防協力者等の表彰及び補償等に関する事。
- 14 広報等に関する事。
- 15 庁中取締りに関する事。
- 16 安全・衛生管理に関する事。
- 17 職員の教養研修に関する事。
- 18 庁用図書の保管に関する事。
- 19 その他庶務に関する事。
- 20 他の所掌に属しない事。

財政係

- 1 予算の編成及び執行の調整等に関する事。
- 2 財政計画に関する事。
- 3 旅費に関する事。
- 4 諸手数料に関する事。
- 5 補助金等に関する事。
- 6 備品及び不動産並びにその他の消防施設等の管理に関する事。
- 7 入札及び契約に関する事。
- 8 給貸与品の購入、支給及び保管に関する事。
- 9 組合負担金に関する事。
- 10 総務課の備品等の管理及び整理に関する事。
- 11 その他財政に関する事。

防災センター

- 1 防火防災知識の普及啓発に関すること。
- 2 施設の維持管理・運用に関すること。
- 3 その他他の課に属しない防火防災に関すること。

出納室

出納係

- 1 現金及び有価証券の出納保管に関すること。
- 2 物品の出納及び保管（使用中の物品に係る保管を除く。）に関すること。
- 3 基金の記録及び管理に関すること。
- 4 支出負担行為の確認及び支出に関すること。
- 5 決算の調整に関すること。
- 6 小切手の振出しに関すること。
- 7 物品の検収及び引渡しの立会いに関すること。
- 8 その他会計に関すること。

警防通信課

警防係

- 1 警防、救急、救助関係文書の収発、編さん及び保存に関すること。
- 2 消防隊、救急隊、救助隊の運用計画その他消防計画等に関すること。
- 3 消防車両の管理及び補助金に関すること。
- 4 消防相互応援協定等に関すること。
- 5 消防、救急、救助技術の指導及び普及啓発に関すること。
- 6 医療機関との連絡調整に関すること。
- 7 救急搬送証明に関すること。
- 8 警防統計に関すること。
- 9 消防協会及び消防団との連絡調整に関すること。
- 10 火災の原因及び損害調査に関すること。
- 11 警防通信課の備品等の管理に関すること。
- 12 その他警防に関すること。

通信指令室

- 1 通信関係文書の収発及び保存に関すること。
- 2 火災等災害の出動指令に関すること。
- 3 災害情報、気象情報の収集及び連絡に関すること。
- 4 消防通信施設の管理及び運用に関すること。
- 5 その他通信に関すること。

予 防 課

予 防 係

- 1 予防関係文書の収発、編さん及び保存に関すること。
- 2 予防課の事務の連絡、調整及び庶務に関すること。
- 3 予防査察に関すること。
- 4 予防関係違反処理に関すること。
- 5 建築同意に関すること。
- 6 予防統計に関すること。
- 7 消防用設備等の設置指導等に関すること。
- 8 防火管理者等の講習等に関すること。
- 9 火災予防思想及び情報収集に関すること。
- 10 予防課の備品等の管理及び整理に関すること。
- 11 その他予防に関すること。

危険物係

- 1 危険物関係文書の収発、編さん及び保存に関すること。
- 2 危険物等の貯蔵、取扱の規制等に関すること。
- 3 液化石油ガス販売事業等の許可等に係る意見並びに指導等に関すること。
- 4 危険物施設の予防査察に関すること。
- 5 危険物の手数料に関すること。
- 6 東児湯地区危険物安全協会に関すること。
- 7 その他危険物に関すること。

調査指導係

- 1 調査指導関係文書の収発、編さん及び保存に関すること。
- 2 火災原因及び損害等の調査に関すること。
- 3 火災統計及び報告に関すること。
- 4 火災等の証明に関すること。
- 5 火災予防広報に関すること。
- 6 防火委員会等火災予防協力団体に関すること。
- 7 住宅防火モデル事業等防火対策に関すること。
- 8 調査事務の研究、指導に関すること。
- 9 その他火災予防に関すること。

消 防 署

消 防 課

- 1 火災等災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- 2 消防署の事務事業等の計画及び総合調整に関すること。
- 3 消防署の庶務に関すること。
- 4 消防署員の公務災害に関すること。
- 5 消防署員の諸手当に関すること。
- 6 消防署員の教養に関すること。
- 7 消防署員の福利厚生に関すること。
- 8 消防署員の共済組合等の事業に係る事務に関すること。
- 9 消防署の予算に関すること。
- 10 消防署の備品・物品の購入等調達に関すること。
- 11 消防署の所管する財産の管理に関すること。
- 12 消防協会及び消防団との連絡調整に関すること。
- 13 消防署と分遣所との調整に関すること。
- 14 他の課、分遣所に属しない事務に関すること。

救 急 課

- 1 救急業務に関すること。
- 2 救急統計に関すること。
- 3 救急証明に関すること。
- 4 消防地理、水利に関すること。
- 5 救急技術の指導及び普及に関すること。
- 6 消防機器の点検及び整備等に関すること。
- 7 消防署の広報全般に関すること。
- 8 自主防災組織の指導に関すること。

救 助 課

- 1 救助業務に関すること。
- 2 火災及び救助統計に関すること。
- 3 火災の調査に関すること。
- 4 火災等災害の証明に関すること。
- 5 火薬の取扱いに関すること。
- 6 防火対象物(危険物施設を含む。以下同じ。)の予防査察及び違反処理に関する
こと。

- 7 消防用設備等の審査及び検査に関すること。
- 8 消防署の分掌事務に係る予防統計に関すること。
- 9 防火対象物の消防訓練指導に関すること。

分 遣 所

- 1 火災等災害の警戒及び防ぎょに関すること。
- 2 消防地理、水利に関すること。
- 3 分遣所の庶務に関すること。
- 4 分遣所の事務事業等の計画及び総合調整に関すること。
- 5 分遣所員の諸手当に関すること。
- 6 分遣所の福利厚生に関すること。
- 7 分遣所の予算に関すること。
- 8 分遣所の契約及び物品の調達に関すること。
- 9 分遣所の所管する財産の管理に関すること。
- 10 分遣所の分掌事務の広報に関すること。
- 11 救急業務に関すること。
- 12 消防署が行う統計事務の補完に関すること。
- 13 救急技術の指導及び普及に関すること。
- 14 火災の調査に関すること。
- 15 防火対象物(危険物施設を含む。以下同じ。)の予防査察及び違反処理に関する
こと。
- 16 消防用設備等の審査及び検査に関すること。
- 17 防火対象物の消防訓練指導に関すること。
- 18 その他消防署が行う分掌事務の補完に関すること。

第2 総務



消防署 新富分遣所庁舎

(平成26年3月完成)

「防災は 日頃の備え 身を守る」

高鍋町婦人防火クラブ 篠原 房佳 作

7 平成25年度歳入歳出決算

歳 入

(単位：千円)

款	金 額	構成比
1 分担金及び負担金	875,918	62.6%
2 使用料及び手数料	1,498	0.1%
3 国庫支出金	53,048	3.8%
4 県支出金	774	0.1%
5 財産収入	17	0.0%
6 繰入金	0	0.0%
7 繰越金	13,409	1.0%
8 諸収入	51,578	3.7%
9 組合債	401,800	28.7%
歳 入 合 計	1,398,042	100.0%

歳 出 (性質別内訳)

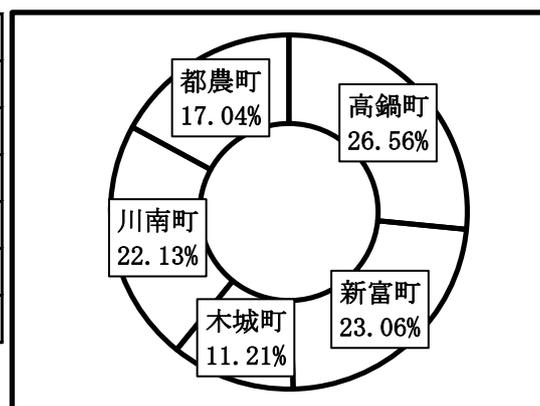
(単位：千円)

区 分	金 額	構成比
1 人件費	641,361	47.2%
2 物件費	67,502	5.0%
3 維持補修費	885	0.1%
4 補助費等	6,807	0.5%
5 公債費	65,945	4.8%
6 積立金	43,384	3.2%
7 普通建設事業費	532,073	39.2%
歳 出 合 計	1,357,957	100.0%

8 平成25年度構成町別負担金

(単位：千円)

町 名	負担金額	構成比
高 鍋 町	232,699	26.56%
新 富 町	201,968	23.06%
木 城 町	98,216	11.21%
川 南 町	193,809	22.13%
都 農 町	149,226	17.04%
計	875,918	100.00%



9 平成26年度当初予算

(歳入)

(単位：千円)

款	項	金 額	構成比(%)
1 分担金及び負担金		882,744	55.98
	1 負担金	882,744	
2 使用料及び手数料		752	0.05
	1 使用料	237	
	2 手数料	515	
3 国庫支出金		9,610	0.61
	1 国庫補助金	9,610	
4 県支出金		964	0.06
	1 県補助金	964	
5 財産収入		53	0.01
	1 財産運用収入	51	
	2 財産売却収入	2	
6 繰入金		26,083	1.65
	1 基金繰入金	26,083	
7 繰越金		3,000	0.19
	1 繰越金	3,000	
8 諸収入		50,183	3.18
	1 組合預金利子	24	
	2 雑収入	50,159	
9 組合債		603,600	38.27
	1 組合債	603,600	
歳入合計		1,576,989	100.00

(歳出)

(単位：千円)

目的別歳出内訳	区 分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	
	1 議会費		461	499	△ 38
2 総務費		86,122	102,323	△ 16,201	
3 消防費		1,403,474	1,270,254	133,220	
	うち常備消防費	665,446	638,639	26,807	
	うち消防施設費	356,485	422,427	△ 65,942	
	うち消防庁舎等建設費	381,543	209,188	172,355	
4 公債費		85,932	68,257	17,675	
5 予備費		1,000	1,000	0	
合 計		1,576,989	1,442,333	134,656	
性質別歳出内訳	区 分	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	
	1 人件費	677,280	652,502	24,778	
	2 物件費	92,712	100,921	△ 8,209	
	3 維持補修費	760	742	18	
	4 補助費等	7,323	5,732	1,591	
	5 公債費	85,932	68,257	17,675	
	6 積立金	1	18,014	△ 18,013	
	7 普通建設事業費	711,981	595,165	116,816	
	うち単独事業費		643,259	342,237	301,022
		うち補助事業費	68,722	252,928	△ 184,206
	8 予備費		1,000	1,000	0
	合 計		1,576,989	1,442,333	134,656

10 職員の階級別年齢

(平成26年4月1日現在)

階級 年 齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合 計	比率 (%)
20 歳 未 満							5	5	5.0
20歳～25歳未満							17	17	17.2
25歳～30歳未満					1		21	22	22.2
30歳～35歳未満					15		3	18	18.2
35歳～40歳未満				5	3	1		9	9.1
40歳～45歳未満			1	6	2			9	9.1
45歳～50歳未満				2				2	2.0
50歳～55歳未満	1		4	2	1			8	8.1
55 歳 以 上			4	3	2			9	9.1
合 計	1	0	9	18	24	1	46	99	100.0
比率 (%)	1.0	0.0	9.1	18.2	24.2	1.0	46.5	100.0	

※ 平均年齢 34 歳

11 職員の階級別配置状況

(平成26年4月1日現在)

階級 年	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合 計	比率 (%)
消 防 本 部	1		5	6	4		4	20	20.2
消 防 署			3	7	11	1	24	46	46.5
新 富 分 遣 所				1	4		4	9	9.1
川 南 分 遣 所				2	3		4	9	9.1
都 農 分 遣 所			1	2	2		10	15	15.1
合 計	1	0	9	18	24	1	46	99	100.0

12 職員の勤務年数

(平成26年4月1日現在)

階級 年 齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合 計
5年未満							33	33
5年～10年未満					10		13	23
10年～15年未満				1	8			9
15年～20年未満			1	3		1		5
20年～25年未満				8	3			11
25年～30年未満				1				1
30年以上	1		8	5	3			17
合 計	1	0	9	18	24	1	46	99

13 職員の教養終了状況

(平成26年4月1日現在)

階級 年	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合 計
予防科査察課程			3	4	2		1	10
予防科調査課程			3	3	1			7
予防科危険物課程				2	4			6
警防科警防課程			2	2	1			5
警防科救助課程	1		6	9	4	1	2	23
特殊災害科			1	2	3	1	2	9
救急課程	1		9	18	24	1	30	83
救急救命研修所	1		5	11	9	1		27
初級幹部科	1		8	10	13			32
中級幹部科	1		8	8				17
上級幹部科								0
消防大学校	1		6	3				10

第3 警防・通信



平成25年度宮崎県消防長会警防担当者会議

(平成25年10月3日 東児湯消防組合消防本部)

「火の用心 出かける前と 寝る前に！！」

都農町婦人防火クラブ 黒木 豊子 作

1 消防力の配置状況

(平成26年4月1日現在)

区分 \ 所属		消防本部	消（本署） 防署	新富分遣所	川南分遣所	都農分遣所	合計
消防職員		20 [2]	46	9	9	15	99
事務職員							
合計（人）		20 [2]	46	9	9	15	99
消防署	水槽付ポンプ自動車		1	1	1☆	1☆	4
	高規格救急車		2	1	1☆	1	5
	指揮車		1				1
	救助工作車Ⅱ型		1				1
	小型動力ポンプ付水槽車（10t）		1				1
	指揮支援車		1				1
	資機材搬送車		1				1
	起震車		1				1
	非常用水槽付ポンプ車		1				1
	非常用救急車		1				1
	軽貨物車		1				1
	消防本部	指令車	1				
防火広報車		1					1
公共応急作業車		1					1
事務連絡車		2					2
合計（台数）		5	12	2	2	2	23

[]内は県・航空隊派遣

☆は緊急消防援助隊登録車両

2 消防用車両の状況

(平成26年7月8日現在)

所属	車両名	無線呼出し名称	車名 年式	購入年月	更新 基準	備考
本部	指令車	しょうぼうこゆ 11	トヨタ H24年	H24年10月	概ね15年 若しくは 15万km 以上	ヴァンガード
	公共応急 作業車	しょうぼうこゆ 8	トヨタ H19年	H19年 1月		エステイマ
	防火広報車	しょうぼうこゆ 12	ホンダ H12年	H12年 3月		CR-V
	事務連絡車	しょうぼうこゆ 6	マツダ H24年	H24年10月		ビアンテ
	事務連絡車	しょうぼうこゆ 15	トヨタ H 23年	H23年 9月		プリウスEX
消防署 (本署)	水槽付ポン プ自動車	しょうぼうこゆ 1	日野 H22年	H22年 2月	概ね17年 10万km	水Ⅱ型 小川ポンプ
	救助工作車	しょうぼうこゆ 7	日野 H26年	H26年 3月	概ね17年 10万km	Ⅱ 型
	指揮支援車	しょうぼうこゆ 9	スズキ H23年	H23年 3月	概ね15年 15万km	エスクード
	指揮車	しょうぼうこゆ 13	トヨタ H23年	H23年12月	概ね15年 15万km	ハイエース
	小型動力ポン プ付水槽車	しょうぼうこゆ 14	三菱 H 8年	H 8年 3月	概ね17年 10万km	Ⅱ 型
	救急車	きゅうきゅうこゆ 1	トヨタ H25年	H25年 3月 (寄贈)	概ね10年 20万km	高規格
	救急車	きゅうきゅうこゆ 5	ニッサン H22年	H22年10月	概ね10年 20万km	高規格
	資機材搬 送車	しょうぼうこゆ 16	いすゞ H25年	H25年10月	概ね15年 15万km	3t トラック
	起震車	しょうぼうこゆ 17	日野 H15年	H15年 3月	概ね17年 10万km	普通トラック
	軽貨物車	—————	スズキ H24年	H24年12月	概ね15年 15万km	キャリー
	非常用水槽付 ポンプ自動車	しょうぼうこゆ 5	日野 H 7年	H 7年 3月	概ね17年 10万km	水Ⅱ型 日本機械
	非常用 救急車	きゅうきゅうこゆ 6	トヨタ H17年	H17年12月	概ね10年 20万km	高規格
新富	水槽付ポン プ自動車	しょうぼうこゆ 4	日野 H11年	H11年 3月	概ね17年 10万km	水Ⅱ型 小川ポンプ
	救急車	きゅうきゅうこゆ 4	トヨタ H23年	H23年12月	概ね10年 20万km	高規格
川南	水槽付ポン プ自動車	しょうぼうこゆ 3	日野 H10年	H10年 3月	概ね17年 10万km	水Ⅱ型 小川ポンプ
	救急車	きゅうきゅうこゆ 3	トヨタ H24年	H24年12月	概ね10年 20万km	高規格
都農	水槽付ポン プ自動車	しょうぼうこゆ 2	日野 H10年	H10年 1月	概ね17年 10万km	水Ⅱ型 吉谷ポンプ
	救急車	きゅうきゅうこゆ 2	ニッサン H20年	H20年 2月 (車体寄贈)	概ね10年 20万km	高規格

3 特殊資機材の現有状況

(平成26年4月1日現在)

項目	区 分	所 属				合 計
		消防署 (本署)	新 富 分遣所	川 南 分遣所	都 農 分遣所	
保 安 器 具	空 気 呼 吸 器	21	4	4	4	33
	空 気 ボ ン ベ	37	9	9	11	66
	発 電 照 明 器	4	1	1	1	7
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	4				4
	簡 易 型 防 護 服	716				716
	防 毒 マ ス ク	12				12
	ガ ス 検 知 器	2				2
	放射線測定器(個人線量計 5含)	18				18
救 助 資 機 材	救 命 胴 衣	36	9	9	9	63
	ウ エ ッ ト ス ー ツ	16				16
	救 命 索 発 射 銃	6				6
	ガ ス 熔 断 器	1				1
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	3				3
	油 圧 救 助 器 具 一 式	3		1		4
	マ ッ ト 式 空 気 ジ ャ ッ キ	3				3
	赤 外 線 サ ー マ ル カ メ ラ	1				1
	エ ア ソ ー	3				3
	チ エ ン ソ ー	4	1	1	1	7
	削 岩 機	2				2
	ポ ー ト パ ワ ー				1	1
	送 風 機	2				2
	救 命 ボ ー ト (船 外 機 含)	5				5
	救 助 マ ッ ト	3				3
ス ロ ー ダ ン	2				2	
救 急 資 機 材	A E D	5	2	2	2	11
	輸 液 ポ ン プ	3	1	1		5
	自 動 心 臓 マ ッ サ ー ジ 器	1	1	1		3
	パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	4	4	1	1	10
	患 者 監 視 装 置	3	1	1	1	6
	自 動 式 吸 引 器	3	1	1	1	6
	陰 圧 式 固 定 器 具 (全 身 用)	3			1	4
	陰 圧 式 固 定 器 具 (部 分 用)	3	1	1	1	6
	呼 吸 管 理 器	3	1	1	1	6
	携 帯 用 酸 素 吸 入 器	3	1	1	1	6
医 療 用 酸 素 ボ ン ベ	32	16	12	10	70	
そ の 他	林 野 火 災 用 資 機 材 一 式	1				1
	可 搬 式 散 水 装 置	10	6	6	8	30
	高 圧 ガ ス 緊 急 防 災 用 具	1				1
	携 帯 無 線 機	9	2	2	2	15
	小 型 動 力 ポ ン プ	2				2
	エ ア ー テ ン ト	2				2
	ポ ー タ ブ ル キ ャ フ ス	1				1
	1 1 9 番 通 報 訓 練 装 置	2				2
	簡 易 泡 混 合 機		1	1		2
	ピ ッ ク ア ッ プ 式 泡 ノ ズ ル	2	1	1	1	5
	東 消 式 簡 易 発 泡 器		1	1	1	3
	フ ォ ー ム シ ョ ッ ト ガ ン	1	1	1		3
	ラ イ ン プ ロ ポ ー シ ョ ナ ー	1	1	1	1	4

4 通信施設概況

(平成26年4月1日現在)

区分	台数	備考
消防緊急通信 指令システム	1	指令台(正・副×2)
		自動出動指定装置
		地図等検索装置
		無線統制台
		発信地表示装置
		防災行政無線システム (音声合成による自動案内)
		順次指令・Eメール指令装置
		災害状況等自動案内装置
		車両動態管理装置(AVM)
		気象情報収集装置 (天候・温度・風向・風速・湿度・気圧・雨量)
		支援情報管理端末装置
		駆け込み監視通報装置
消防専用無線電話 (固定局5・基地局3)	8	周波数 152.07 152.77 150.73 148.75 154.15 365.15 158.35MHz
消防専用無線電話 (移動局)	23	10W 23機
消防専用無線電話 (携帯局)	18	5W 8機 1W 10機
簡易無線局	2	5W 2機
ファックス	5	消防本部 2台・分遣所 3台
	1	119番受信専用ファックス
宮崎県防災行政無線	1	電話(地上・衛星) ファックス

5 消防水利の現況

(平成26年4月1日現在)

町別	種別	消火栓	防火水槽		指定水利			合計
			40t以上	40t未満	河川等	プール	濠池等	
高鍋町		510	15	41				566
新富町		337	28	142	4	9		520
木城町		105	28	44		9		186
川南町		292	8	51	7	9	3	370
都農町		306	7	26	16	6	4	365
合計	小計	1,550	86	304	27	33	7	2,007
			390					

6 緊急通報の受信状況

(1) 救急事案

(平成25年中)

事故種別	通報専用電話 (119番)					そ の 他					合 計
	固定	I P	携帯	小計	携帯 比率	加入 電話	駆付け	消防 無線	自己 覚知	その他	
急 病	908	263	475	1,646	28.9%	111	18		1		1,776
交通事故	26	6	123	155	79.4%	66	1	12			234
一般事故	215	48	134	397	33.8%	25	2		1		425
労災事故	7	2	10	19	52.6%		1				20
運動事故	2		25	27	92.6%	2	2				31
自損事故	10	2	10	22	45.5%	13	1				36
加害事故	3		5	8	62.5%	5					13
水難事故								1			1
火災事故			1	1	100.0%			2			3
自然災害											
転院搬送	121	103		224		103	1	1			329
医師搬送											
そ の 他	1		3	4	75.0%	4		1			9
合 計	1,293	424	786	2,503	31.4%	329	26	17	2		2,877

(2) 火災事案

事故種別	通報専用電話 (119番)					そ の 他					合 計
	固定	I P	携帯	小計	携帯 比率	加入 電話	駆付け	消防 無線	自己 覚知	その他	
建 物	8	1	13	22	59.1%	2					24
林 野	3	1	3	7	42.9%	1					8
車 両	2		1	3	33.3%						3
船 舶											
航空機											
そ の 他	4		18	22	81.8%	5					27
小 計	17	2	35	54	64.8%	8					62

(3) 救助事案

事故種別	通報専用電話 (119番)					そ の 他					合 計
	固定	I P	携帯	小計	携帯 比率	加入 電話	駆付け	消防 無線	自己 覚知	その他	
交通救助	1	1	5	7	71.4%	8					15
機械事故			1	1	100.0%						1
水難救助						4					4
火災救助											
そ の 他	1		5	6	83.3%	1		3			10
小 計	2	1	11	14	78.6%	13		3			30

第4 予防



母と子の防災教育

(平成25年10月2日 川南町立通浜児童館)

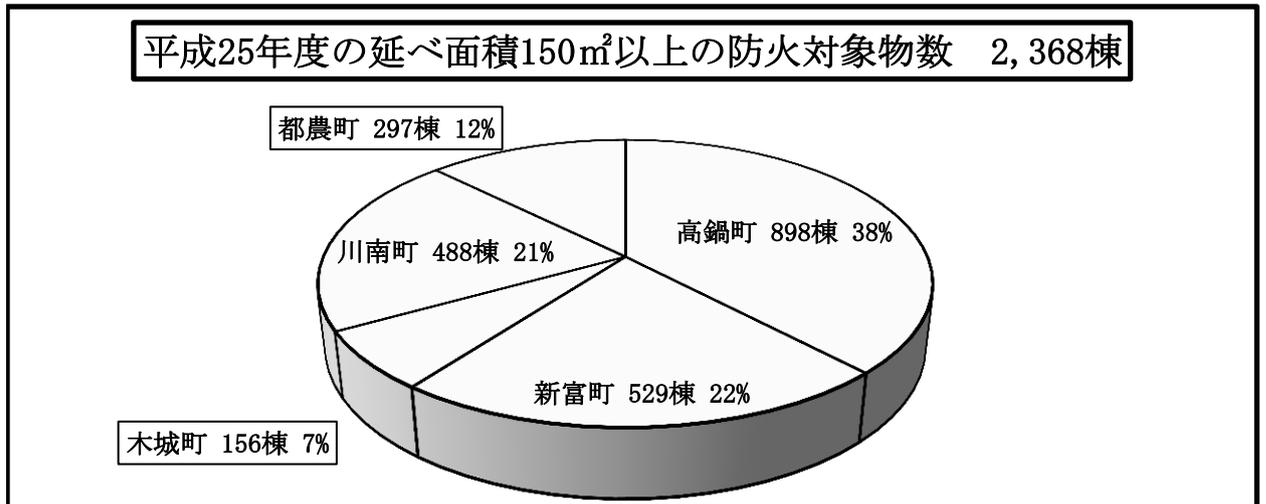
「火を止めて 目で確認 口でよし」

新富町婦人防火クラブ 橋口 澄子 作

1 防火対象物数（延べ面積150㎡以上）

（平成26年4月1日現在）

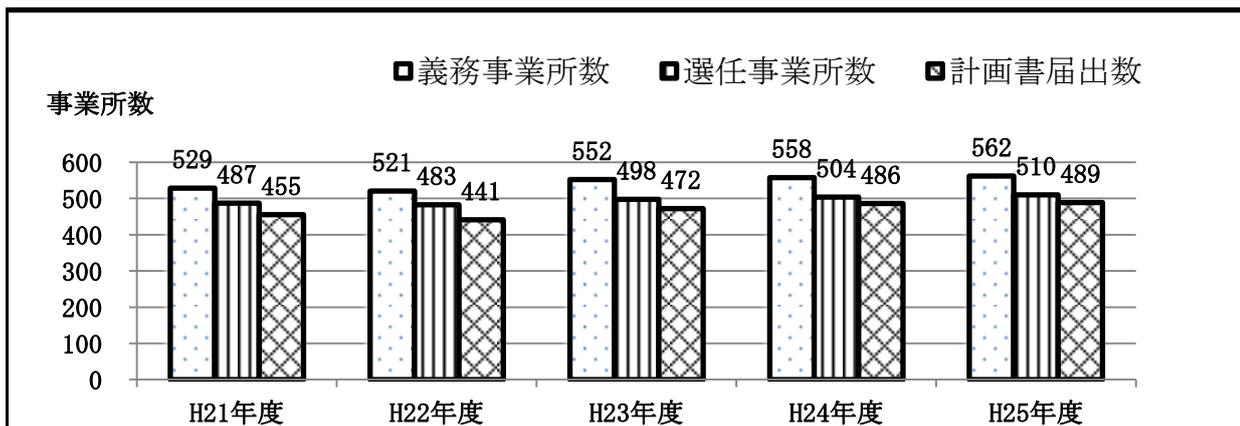
防火対象物の区分			棟数	町別				
				高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町
1	イ	映画館・劇場・観覧場	7	4	1	1		1
	ロ	公会堂・集会場等	32	6	9	5	6	6
2	イ	キャバレー・クラブ等	0					
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	4	1			
	ハ	風俗営業等	0					
	ニ	カラオケボックス等	1		1			
3	イ	料理店等	1		1			
	ロ	飲食店	64	30	10	1	10	13
4		マーケット・店舗等	123	50	27	5	23	18
5	イ	旅館・ホテル	15	9	3	1		2
	ロ	共同住宅・寄宿舍等	334	175	91	8	32	28
6	イ	病院・診療所等	49	24	6	3	11	5
	ロ	社会福祉施設	52	13	14	4	12	9
	ハ	児童養護施設等	84	19	18	11	25	11
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	12	2	6		2	2
7		小・中・高・大学校等	161	83	15	8	26	29
8		図書館・博物館等	7	4	1	1		1
9	イ	サウナ浴場等	0					
	ロ	一般公衆浴場等	4	1	2	1		
10		車両の停車場等	2	1				1
11		神社・寺院・教会等	25	8	2	3	4	8
12	イ	工場・作業場	394	92	112	29	103	58
	ロ	映画・テレビスタジオ等	0					
13	イ	自動車車庫・駐車場	35	12	9	2	9	3
	ロ	飛行機等の格納庫	14		14			
14		倉庫	306	94	49	29	104	30
15		上記以外の事業場	335	121	90	29	59	36
16	イ	特定複合用途	158	85	23	12	21	17
	ロ	非特定複合用途	144	59	24	3	41	17
17		重要文化財	4	2				2
合計			2,368	898	529	156	488	297



2 防火管理者選任状況

(平成26年4月1日現在)

防火対象物の区分	A 総事業所数 (敷地)	B 選任義務事業所数 (敷地)	B/A 割合	防火管理者		消防計画			
				選任事業所数	選任率	届出事業所数	届出率		
1 イ	映画館・劇場・観覧場	3	3	100%	3	100%	3	100%	
1 ロ	公会堂・集会場等	25	25	100%	22	88%	22	88%	
2	イ	キャバレー・クラブ等							
	ロ	遊技場・ダンスホール	4	4	100%	4	100%	4	100%
	ハ	風俗営業等							
3	イ	カラオケボックス等	1	1	100%	1	100%	1	100%
	ロ	料理店等	1	0	0%				
4	イ	飲食店	68	50	74%	45	90%	43	86%
	ロ	マーケット・店舗等	123	86	70%	74	86%	73	85%
5	イ	旅館・ホテル	13	6	46%	5	83%	5	83%
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	219	35	16%	32	91%	30	86%
6	イ	病院・診療所等	39	17	44%	17	100%	17	100%
	ロ	社会福祉施設	35	34	97%	33	97%	32	94%
	ハ	児童養護施設等	69	48	70%	47	98%	46	96%
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	7	6	86%	5	83%	5	83%
7	小・中・高・大学校等	34	31	91%	29	94%	26	84%	
8	図書館・博物館等	5	4	80%	4	100%	4	100%	
9	イ	サウナ浴場等							
	ロ	一般公衆浴場等	2	2	100%	2	100%	2	100%
10	車両の停車場等	2	0	0%					
11	神社・寺院・教会等	22	12	55%	11	92%	9	75%	
12	イ	工場・作業場	264	24	9%	22	92%	17	71%
	ロ	映画・テレビスタジオ等							
13	イ	自動車車庫・駐車場	9	0	0%				
	ロ	飛行機等の格納庫							
14	倉庫	88	0	0%					
15	上記以外の事業場	167	52	31%	43	83%	42	81%	
16	イ	特定複合用途	200	111	56%	100	90%	98	88%
	ロ	非特定複合用途	149	10	7%	10	100%	10	100%
17	重要文化財	3	1	33%	1	100%	0	0%	
合計		1,552	562	36%	510	91%	489	87%	



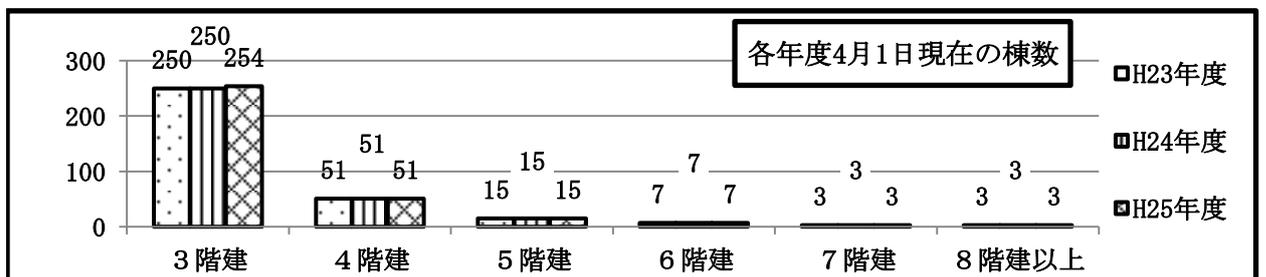
3 中高層建築物（3階以上）の状況

(平成26年4月1日現在)

防火対象物の区分			計	階別						
				3階	4階	5階	6階	7階	8階以上	
1	イ	映画館・劇場・観覧場	3	2		1				
	ロ	公会堂・集会場等								
2	イ	キャバレー・クラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール								
	ハ	風俗営業等								
3	イ	料理店等	3	3						
	ロ	飲食店								
4		マーケット・店舗等	3	3						
5	イ	旅館・ホテル	2			1	1			
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	202	149	37	10	2	1	3	
6	イ	病院・診療所等	10	9			1			
	ロ	社会福祉施設	4	4						
	ハ	児童養護施設等	2	2						
	ニ	幼稚園・特別支援学校等								
7		小・中・高・大学校等	22	19	3					
8		図書館・博物館等	1	1						
9	イ	サウナ浴場等								
	ロ	一般公衆浴場等								
10		車両の停車場等								
11		神社・寺院・教会等	2	2						
12	イ	工場・作業場	7	5	1	1				
	ロ	映画・テレビスタジオ等								
13	イ	自動車車庫・駐車場	2	2						
	ロ	飛行機等の格納庫								
14		倉庫	4	4						
15		上記以外の事業場	38	31	4	1	1	1		
16	イ	特定複合用途	22	12	6	1	2	1		
	ロ	非特定複合用途	6	6						
17		重要文化財								
合計			333	254	51	15	7	3	3	

町別の3階以上の建築物

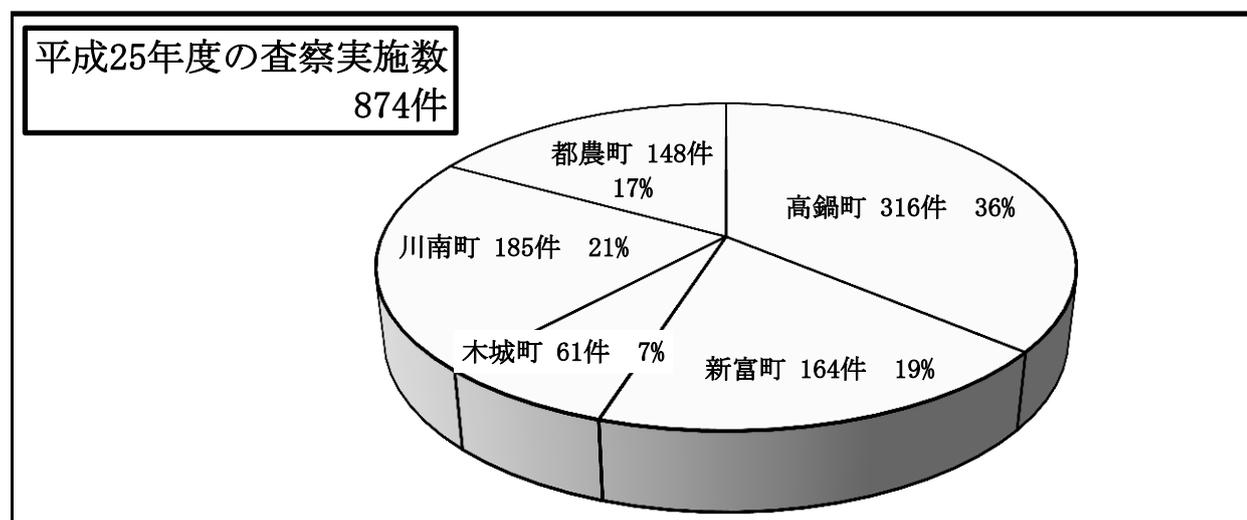
町別	階別	計	3階	4階	5階	6階	7階	8階以上
高鍋町		169	118	35	8	5	1	2
新富町		94	73	11	7		2	1
木城町		9	5	4				
川南町		33	30	1		2		
都農町		28	28					
合計		333	254	51	15	7	3	3



4 査察実施状況

(平成25年度)

防火対象物の区分			計	町 別				
				高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町
1	イ	映画館・劇場・観覧場	6	3	1	1		1
	ロ	公会堂・集会場等	29	5	9	4	6	5
2	イ	キャバレー・クラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール	6	4	2			
	ハ	風俗営業等						
3	イ	カラオケボックス等	2		1			1
	ロ	料理店等						
4	イ	飲食店等	41	21	5	1	9	5
	ロ	マーケット・店舗等	84	37	14	5	13	15
5	イ	旅館・ホテル	6	3	1	1	1	
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	75	31	33	1	10	
6	イ	病院・診療所等	44	22	7	1	10	4
	ロ	社会福祉施設	51	12	13	6	11	9
	ハ	児童養護施設等	76	20	17	9	19	11
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	10	1	6		1	2
7	小・中・高・大学校等	79	41	8			30	
8	図書館・博物館等	4	1		2		1	
9	イ	サウナ浴場等						
	ロ	一般公衆浴場等	1	1				
10	車両の停車場等	1	1					
11	神社・寺院・教会等	7	3			1	3	
12	イ	工場・作業場	102	13	31	4	23	31
	ロ	映画・テレビスタジオ等						
13	イ	自動車車庫・駐車場	10	3	1	2	2	2
	ロ	飛行機等の格納庫						
14	倉庫	63	15	3	3	36	6	
15	上記以外の事業場	72	24	2	14	24	8	
16	イ	特定複合用途	78	43	7	5	14	9
	ロ	非特定複合用途	23	11	3	2	5	2
17	重要文化財	4	1				3	
合 計			874	316	164	61	185	148



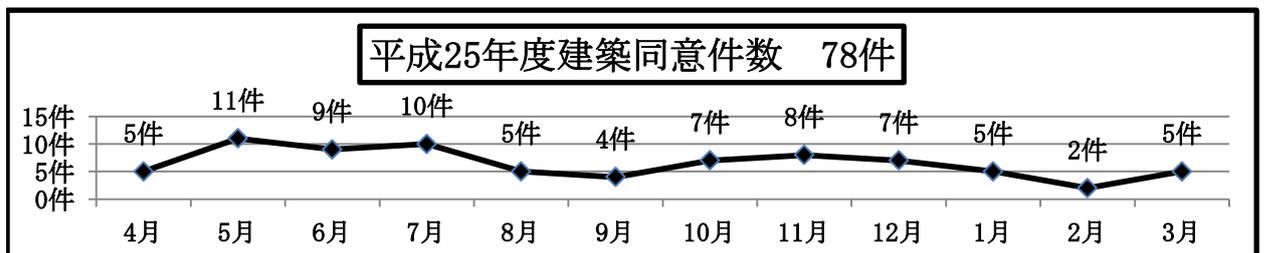
5 建築同意用途別件数

(平成25年度)

防火対象物の区分			計	月 別												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1	イ	映画館・劇場・観覧場	1													
	ロ	公会堂・集会場等										1				
2	イ	キャバレー・クラブ等														
	ロ	遊技場・ダンスホール														
	ハ	風俗営業等														
	ニ	カラオケボックス等														
3	イ	料理店等														
	ロ	飲食店														
4		マーケット・店舗等	4							1	1	1	1			
5	イ	旅館・ホテル	2							1		1				
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	2				1	1								
6	イ	病院・診療所等	1				1									
	ロ	社会福祉施設	2		1	1										
	ハ	児童養護施設等	5	1	1				1				1		1	
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	5			2	2	1								
7		小・中・高・大学校等	10			1	2	1		2	1	2			1	
8		図書館・博物館等														
9	イ	サウナ浴場等														
	ロ	一般公衆浴場等														
10		車両の停車場等														
11		神社・寺院・教会等	2						1							1
12	イ	工場・作業場	9	1	2	1			1	1	2	1				
	ロ	映画・テレビスタジオ等														
13	イ	自動車車庫・駐車場														
	ロ	飛行機等の格納庫														
14		倉庫	4	1		1			1		1					
15		上記以外の事業場	12		4		4	1		1		1			1	
16	イ	特定複合用途	5			1		1						2		1
	ロ	非特定複合用途	1													1
17		重要文化財														
その他			13	2	3	2				1	2	1	1			1
合 計			78	5	11	9	10	5	4	7	8	7	5	2		5

町別取扱件数

町別	月別	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
高 鍋 町		29	2	3	6	2	1	1	4	4	3	1	1	1
新 富 町		12	1	4		3					2			2
木 城 町		5	1		1	1			1			1		
川 南 町		17	1	2		2	2	2	2	2	1	2		1
都 農 町		15		2	2	2	2	1		2	1	1	1	1
合 計		78	5	11	9	10	5	4	7	8	7	5	2	5



6 建築同意工事種別件数

(平成25年度)

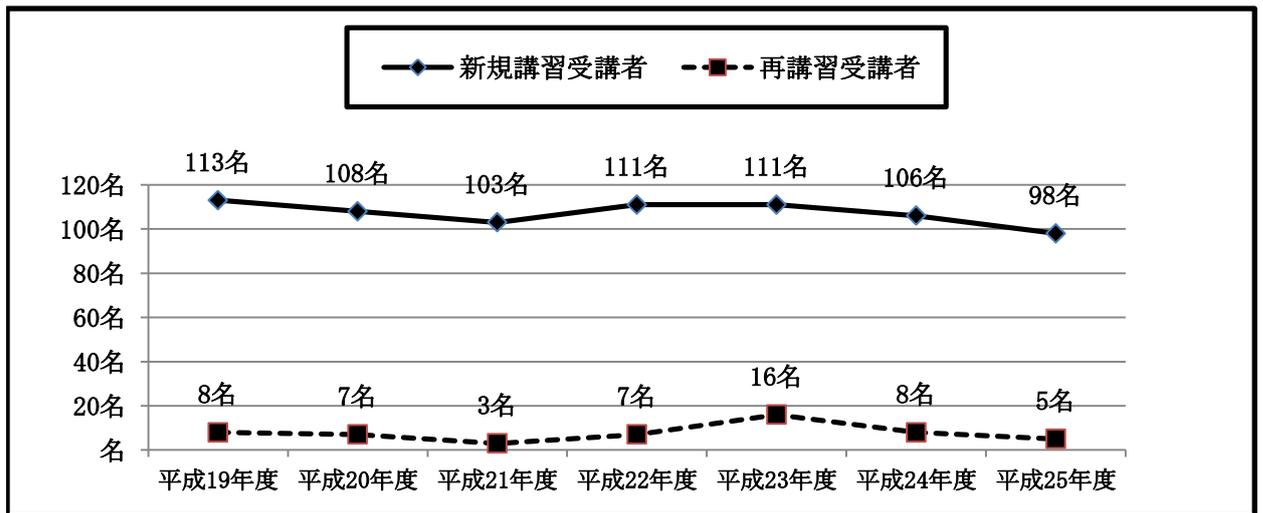
防火対象物の区分			計	工 事 別			
				新 築	増 築	改 築	そ の 他
1	イ	映画館・劇場・観覧場	1	1			
	ロ	公会堂・集会場等					
2	イ	キャバレー・クラブ等					
	ロ	遊技場・ダンスホール					
	ハ	風俗営業等					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	料理店等					
	ロ	飲食店					
4		マーケット・店舗等	4	3	1		
5	イ	旅館・ホテル	2	1			1
	ロ	共同住宅・寄宿舎等					
6	イ	病院・診療所等	1	1			
	ロ	社会福祉施設					
	ハ	児童養護施設等					
	ニ	幼稚園・特別支援学校等					
7		小・中・高・大学校等	10	5	3	2	
8		図書館・博物館等					
9	イ	サウナ浴場等					
	ロ	一般公衆浴場等					
10		車両の停車場等					
11		神社・寺院・教会等	2	2			
12	イ	工場・作業場	9	5	4		
	ロ	映画・テレビスタジオ等					
13	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	飛行機等の格納庫					
14		倉庫	4	4			
15		上記以外の事業場	12	11	1		
16	イ	特定複合用途	5	5			
	ロ	非特定複合用途					
17		重要文化財					
そ の 他			13	13			
合 計			78	63	9	2	4

町別取扱件数

町別	工事別	計	新 築	増 築	改 築	そ の 他
高 鍋 町		29	25	1	1	2
新 富 町		12	11	1		
木 城 町		5	4			1
川 南 町		17	12	4		1
都 農 町		15	11	3	1	
合 計		78	63	9	2	4

7 防火管理者資格講習会受講状況

年 度	実 施 日		受講者数	再 講 習 実 施 状 況	
平成19年度	7月 5～ 6日	11月 8～ 9日	113名	H20年 2月 8日	8名
平成20年度	7月 3～ 4日	11月13～14日	108名	H21年 2月 6日	7名
平成21年度	6月 4～ 5日	11月12～13日	103名	H22年 2月19日	3名
平成22年度	9月 9～10日	2月 8～ 9日	111名	H23年 2月 8日	7名
平成23年度	6月23～24日	11月10～11日	111名	H24年 3月 8日	16名
平成24年度	9月21～22日	11月15～16日	106名	H25年 3月26日	8名
平成25年度	6月 6～ 7日	11月21～22日	98名	H26年 3月 7日	5名



8 予防関係届出等件数

(平成25年度)

種 別	件 数	参考(平成24年度)
消防用設備等着工届出	71	47
消防用設備等設置届出	85	64
消防用設備等点検結果報告	779	717
消防用設備等改修(計画)報告	55	53
防火対象物使用開始届出	75	96
防火管理者選任(解任)届出	101	109
消防計画作成(変更)届出	103	113
防火管理講習終了証再交付申請	10	10
施行令第32条特例申請	3	9
変電・発電設備設置届出	28	23
ボイラー設備設置届出	11	8
少量危険物貯蔵取扱届出	21	21
液化石油ガス開始届出	26	9
り災証明願	15	15
その他の届出関係	651	540
合 計	2,034	1,834

9 幼年・少年・婦人防火クラブ結成状況

(平成26年4月1日現在)

(1) 幼年消防クラブ

No.	町 別	所 属	ク	ラ	ブ	数	会 員 数
1	高 鍋 町	保育園	6	幼稚園	1		611人
2	新 富 町	〃	8	〃	0		452人
3	木 城 町	〃	2	〃	0		166人
4	川 南 町	〃	6	〃	1		500人
5	都 農 町	〃	5	〃	1		365人
合計	5		27		3		2,094人

(2) 少年消防クラブ

No.	消 防 ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	会 員 数
1	アスナロ消防子供会	昭和55年6月28日	55人
2	はやぶさ少年消防クラブ	昭和56年5月20日	40人
3	潮少年消防クラブ	昭和58年8月23日	32人
合計	3		127人

(3) 婦人防火クラブ

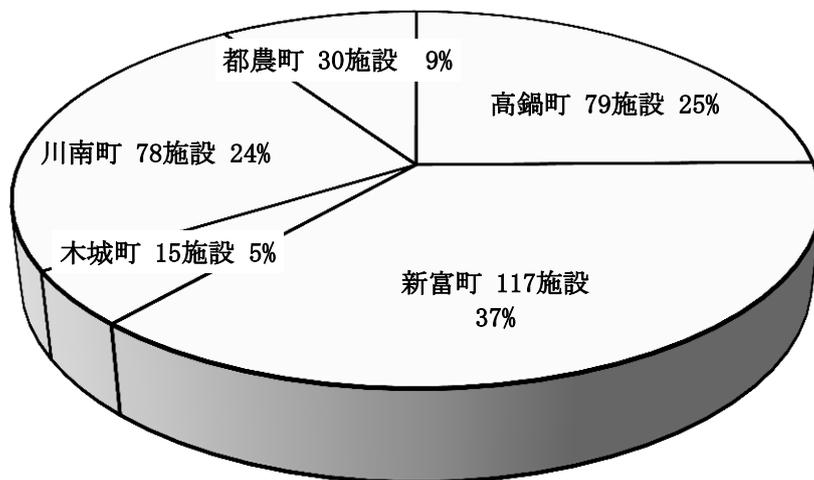
No.	防 火 ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	会 員 数
1	川南町商工会婦人防火クラブ	昭和55年9月1日	39人
2	通浜婦人防火クラブ	平成3年7月15日	280人
3	木城町女性防火クラブ	平成7年3月26日	50人
4	高鍋町婦人防火クラブ	平成9年10月1日	130人
5	新富町婦人防火クラブ	平成10年4月1日	86人
合計	5		585人

10 危険物施設設置状況

(平成26年4月1日現在)

製造所等の区分		計	町 別				
			高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町
合 計		319	79	117	15	78	30
比 率		100%	25%	37%	5%	24%	9%
製 造 所		3	3				
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	29	4	20	2	3	
	屋外タンク貯蔵所	82	18	21	2	32	9
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所	40	12	16	3	5	4
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	51	10	29	1	9	2
	屋 外 貯 蔵 所	3	1		1	1	
	小 計	205	45	86	9	50	15
取 扱 所	給 油 取 扱 所	70	22	17	3	17	11
	販 売 取 扱 所						
	一 般 取 扱 所	41	9	14	3	11	4
	移 送 取 扱 所						
	小 計	111	31	31	6	28	15

平成25年度危険物施設数 319施設



11 危険物数量別・類別施設数

(平成26年4月 1 日現在)

数量別

製造所等の 区分 数量別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	移 送 取 扱 所		小 計
5倍以下	1	14	29		25		24	1	93	5		14		19	113
5倍を超え10倍以下		11	17		5		1	2	36	2		8		10	46
10 " 50 "	1	4	15		7		6		32	15		15		30	63
50 " 100 "	1		6		3		20		29	15				15	45
100 " 150 "			1						1	10		1		11	12
150 " 200 "			1						1	12				12	13
200 " 1,000 "			7						7	10				10	17
1,000 " 5,000 "										1		3		4	4
5,000 " 10,000 "															
10,000倍を超えるもの			6						6						6
合 計	3	29	82		40		51	3	205	70		41		111	319

類 別

第 1 類															
第 2 類															
第 3 類															
第 4 類	3	29	82		40		51	3	205	70		41		111	319
第 5 類															
第 6 類															
混 在															
合 計	3	29	82		40		51	3	205	70		41		111	319

12 危険物規制事務処理状況

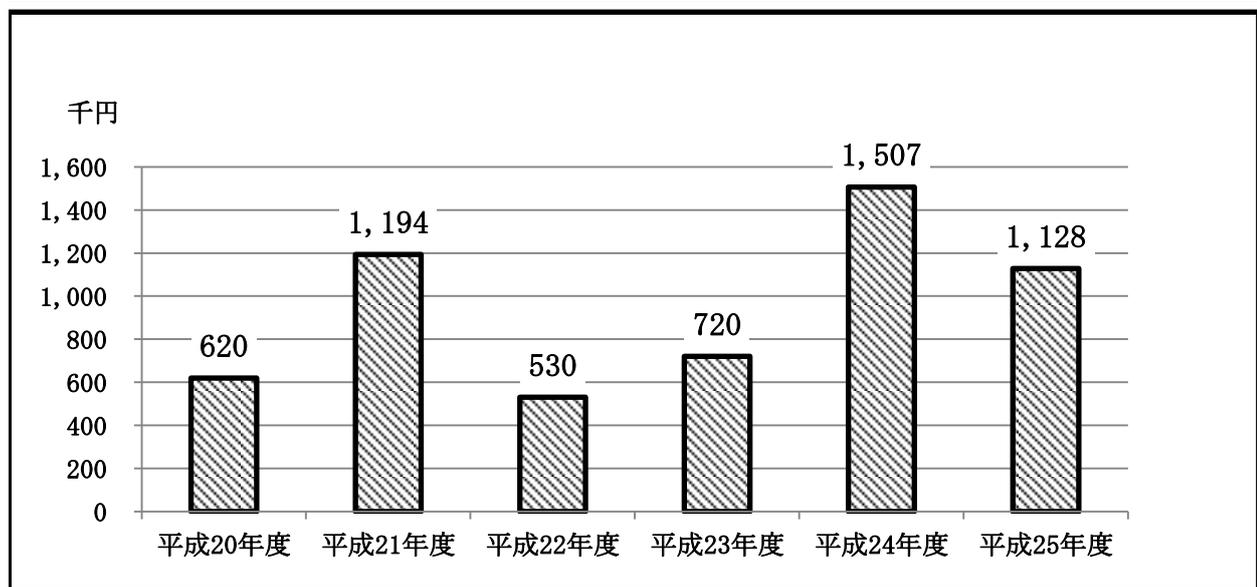
(平成25年度)

製造所等の区分 申請等の区分	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				合 計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計		
設 置 許 可		1	4		2				7			1	1	8	
変 更 許 可			3		2				5	14			14	19	
設 置 完 成 検 査		1	1		2				4					4	
変 更 完 成 検 査			3		2				5	14			14	19	
水 張 検 査			1						1					1	
水 圧 検 査										7			7	7	
基 礎 地 盤 検 査															
溶 接 部 検 査															
仮 使 用 承 認										13			13	13	
譲 渡 引 渡 届										3			3	3	
品名・数量・倍数変更届		2							1	3				3	
設置者氏名等変更届		1	7		6				1	15	2		4	6	21
軽 微 な 変 更 届	1		2						2	12			12	15	
保 安 監 督 者 選 解 任 届	2	7	19							26	17		7	24	52
使 用 休 止 届															
廃 止 届 出															
特 例 適 用 認 定 申 請															
予 防 規 程	2		7						7	21			7	28	37
合 計	5	12	47		14				2	75	103		19	122	202

13 危険物手数料徴収状況

(単位：千円)

申請等		年度					
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
合 計		620	1,194	530	720	1,507	1,128
仮貯蔵・仮取扱承認申請		5	5	21	11	16	43
設置許可申請		235	339	131	268	556	201
変更許可申請		114	407	159	198	368	438
設置完成検査申請		170	123	56	131	257	72
変更完成検査申請		52	228	93	80	165	190
仮使用承認申請		22	70	21	21	65	96
検完成検査申請前	水張検査		22	28		50	11
	水圧検査				11		77
	基礎・地盤検査						
	溶接部検査	22		21			
保安検査申請							
少量危険物等タンク検査申請	水張検査					30	
	水圧検査						



第5 火災・救急・救助



緊急消防援助隊 九州ブロック合同訓練

(平成25年11月27日、28日 沖縄県 中城湾港マリンタウン)

「もう一度 火の元確認 火災ゼロ」

通浜婦人防火クラブ 黒木 まゆみ 作

1 平成25年中の火災状況

(1) 火災の発生状況

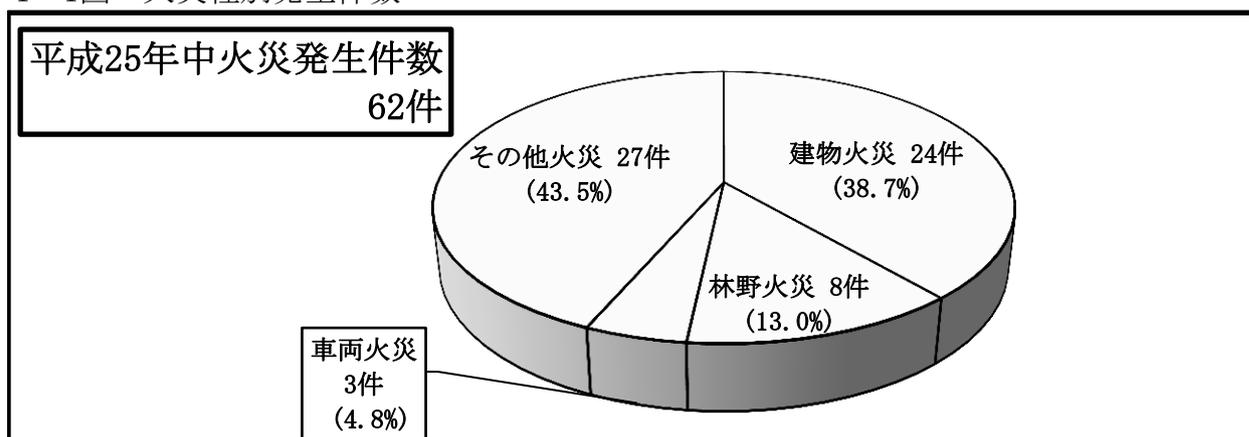
平成25年中における火災発生件数は62件で、損害額は78,972千円であった。

前年と比較すると、発生件数が20件（47.6%）増加し、損害額は21,333千円（37.0%）増加した。

1-1表 火災の発生状況

区分	種別	単位	平成25年 A	平成24年 B	増減 C=A-B
発生件数	建物火災	件	24	18	6
	林野火災	〃	8	4	4
	車両火災	〃	3	2	1
	船舶火災	〃			
	航空機火災	〃			
	その他火災	〃	27	18	9
	合計	〃	62	42	20
焼損棟数	全焼	棟	11	5	6
	半焼	〃	4	2	2
	部分焼	〃	13	9	4
	ぼや	〃	2	5	△3
	合計	〃	30	21	9
面積	建物火災	m ²	2,490	992	1,498
	林野火災	a	49	17	32
死者		人	2	1	1
負傷者		〃	5	4	1
災世帯		世帯	18	13	5
災人員		人	55	34	21
損害額	建物	千円	76,631	54,158	22,473
	林野	〃	438	366	72
	車両	〃	978	525	453
	船舶	〃			
	航空機	〃			
	その他	〃	925	2,590	△1,665
	合計	〃	78,972	57,639	21,333

1-1図 火災種別発生件数



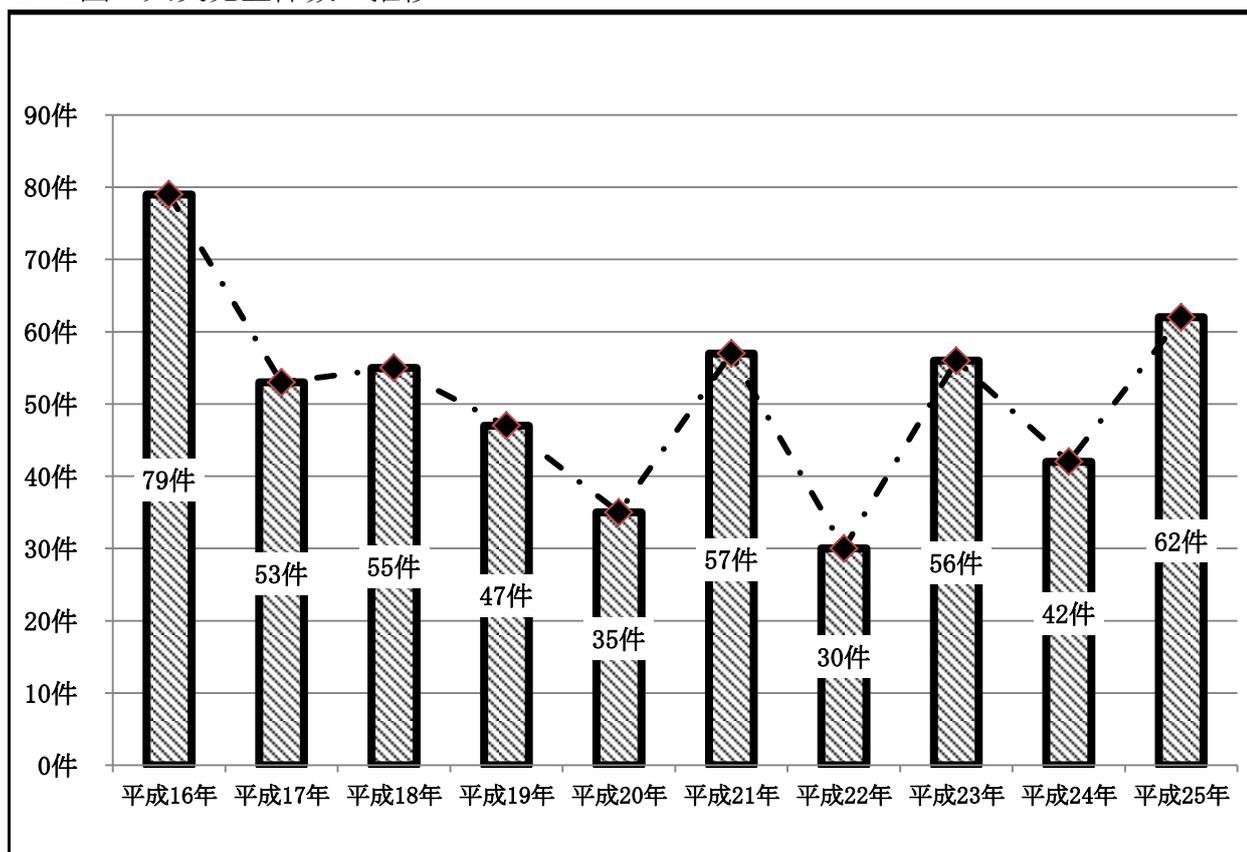
(2) 火災発生件数の推移

過去10年間の火災発生件数の推移をみると、最も多かったのは平成16年の79件で、最も少なかったのは平成22年の30件である。

1-2表 火災発生件数の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
高鍋町	25	17	15	14	15	10	12	13	12	14
前年比		△ 8	△ 2	△ 1	1	△ 5	2	1	△ 1	2
新富町	21	7	12	12	3	13	2	15	16	11
前年比		△ 14	5	0	△ 9	10	△ 11	13	1	△ 5
木城町	1	4	5	2	2	4	2	6	1	5
前年比		3	1	△ 3	0	2	△ 2	4	△ 5	4
川南町	18	15	12	12	10	21	8	10	6	19
前年比		△ 3	△ 3	0	△ 2	11	△ 13	2	△ 4	13
都農町	14	10	11	7	5	9	6	12	7	13
前年比		△ 4	1	△ 4	△ 2	4	△ 3	6	△ 5	6
合 計	79	53	55	47	35	57	30	56	42	62
前年比		△ 26	2	△ 8	△ 12	22	△ 27	26	△ 14	20

1-2図 火災発生件数の推移



(3) 構成町別火災発生状況

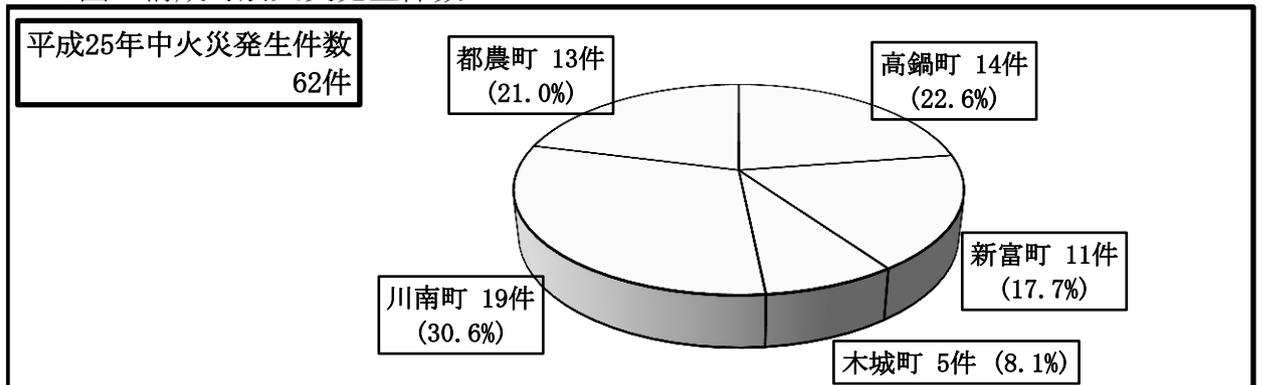
平成25年中における構成町別の火災発生状況をみると、川南町19件、高鍋町14件、都農町13件、新富町11件、木城町5件の順であった。

1-3表 構成町別火災発生状況

区分	種別	単位	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	合計
発生件数	建物火災	件	6	4	3	3	8	24
	林野火災	〃	2	2	1	3		8
	車両火災	〃	2			1		3
	船舶火災	〃						
	航空機火災	〃						
	その他	〃	4	5	1	12	5	27
	合計	〃	14	11	5	19	13	62
焼損棟数	全焼	棟		2	2	4	3	11
	半焼	〃	2	1			1	4
	部分焼	〃	5	2	2	1	3	13
	ぼや	〃					2	2
	合計	〃	7	5	4	5	9	30
面積	建物火災	m ²	133	327	71	1,139	820	2,490
	林野火災	a	14	8	25	2		49
死者	人			1			1	2
負傷者	〃			3		1	1	5
り災世帯	世帯		5	5	1	1	6	18
り災人員	人		22	11	1	1	20	55
損害額	建物	千円	14,824	29,501	1,484	20,080	10,742	76,631
	林野	〃	85	178	146	29		438
	車両	〃	28			950		978
	船舶	〃						
	航空機	〃						
	その他	〃	82	1		842		925
合計	〃	15,019	29,680	1,630	21,901	10,742	78,972	
出火率 (件/人口1万人)			6.5	6.2	9.7	11.6	12.3	8.7

※ 出火率とは人口1万人当りの出火件数をいう。

1-3図 構成町別火災発生件数



(4) 月別火災発生状況

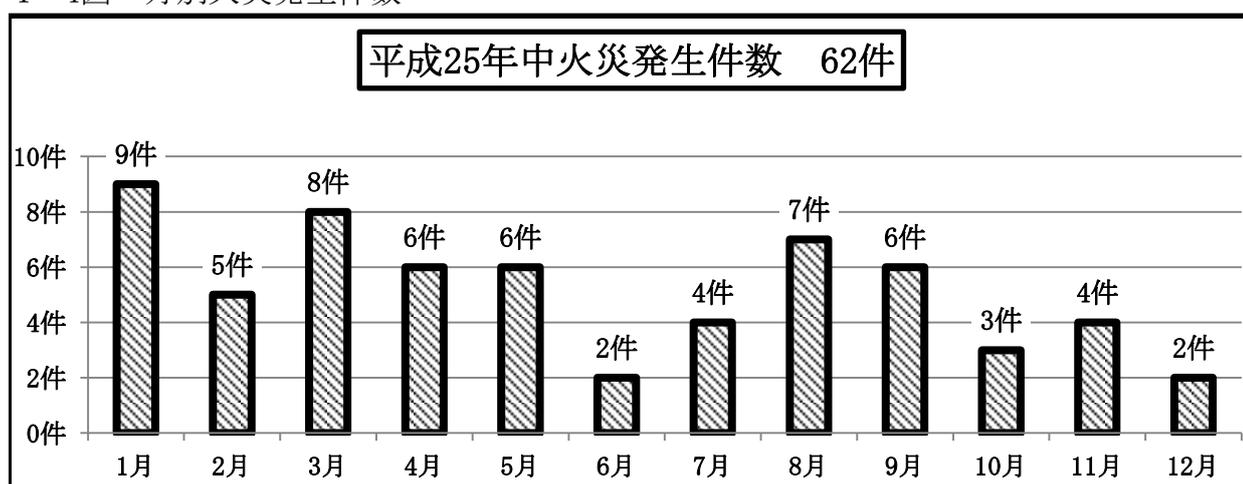
平成25年中の月別火災発生状況をみると、1月が9件と最も多く、次いで3月の8件となっている。

1-4表 月別火災発生件数

参考 (過去3年間)

発生 件 数		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		平成25年	9	5	8	6	6	2	4	7	6	3	4	2
平成24年	13	1	5	3	1	1	2	2	3	5	3	3	42	
平成23年	8	8	7	11	2	3	0	1	3	4	3	6	56	

1-4図 月別火災発生件数



(5) 曜日別火災発生状況

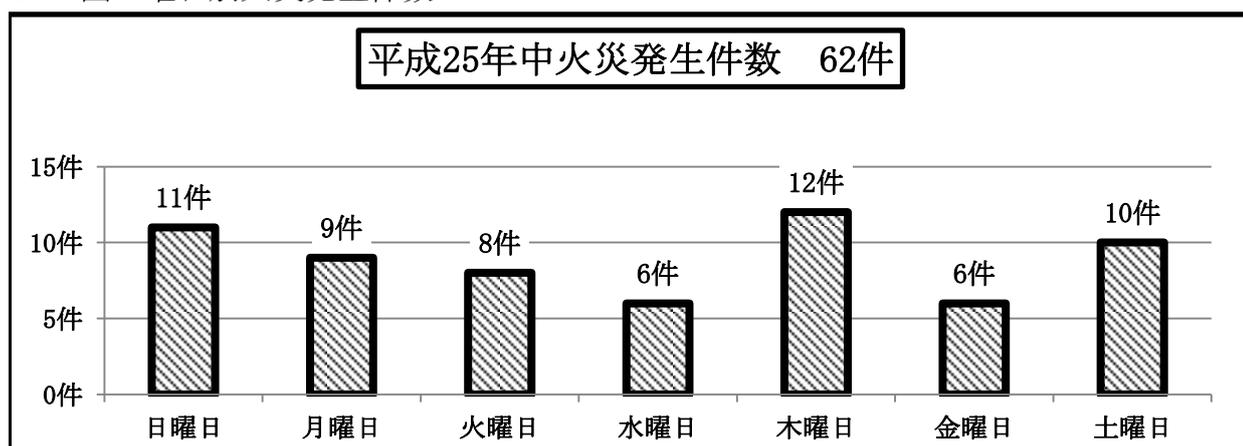
平成25年中の曜日別火災発生状況をみると、木曜日が12件で最も多く、水曜日金曜日が最も少なく6件であった。

1-5表 曜日別火災発生状況

参考 (過去3年間)

発生 件 数		日	月	火	水	木	金	土	合計
		平成25年	11	9	8	6	12	6	10
平成24年	9	8	4	5	7	5	4	42	
平成23年	8	10	8	6	9	8	7	56	

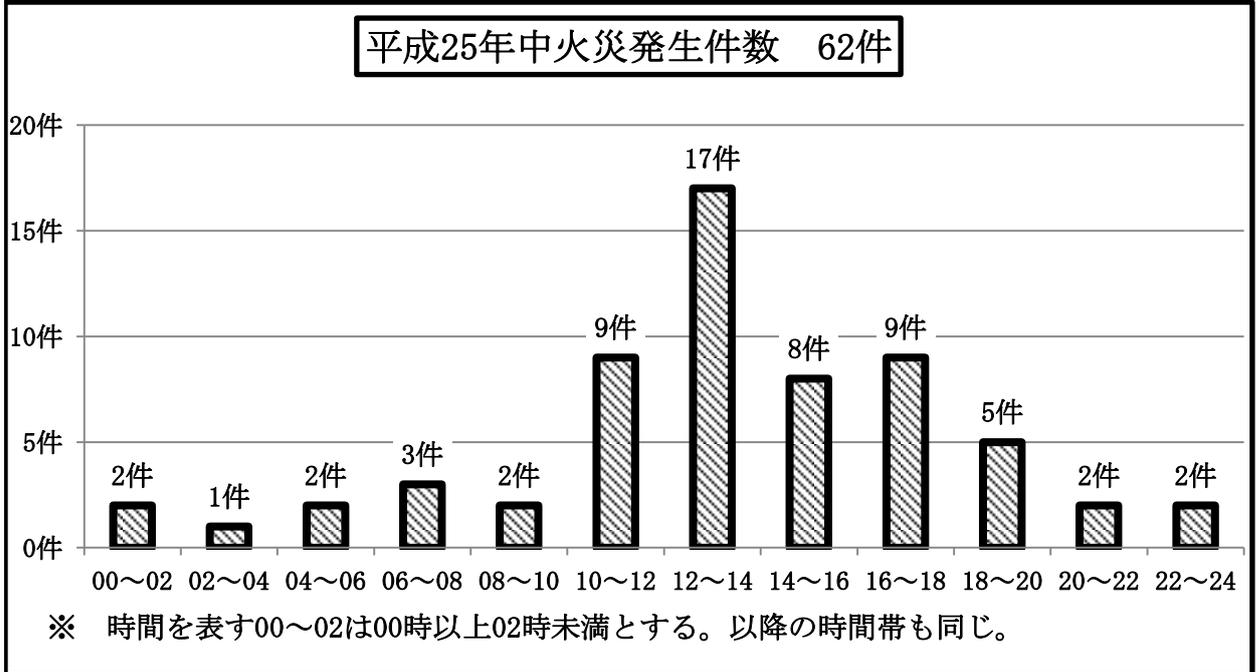
1-5図 曜日別火災発生件数



(6) 時間帯別火災発生状況

平成25年中の火災発生を時間帯別にみると、12時から14時までが最も多く17件発生しており、02時から04時までが最も少なく1件であった。

1-6図 時間帯別火災発生件数



(7) 火災損害額の推移

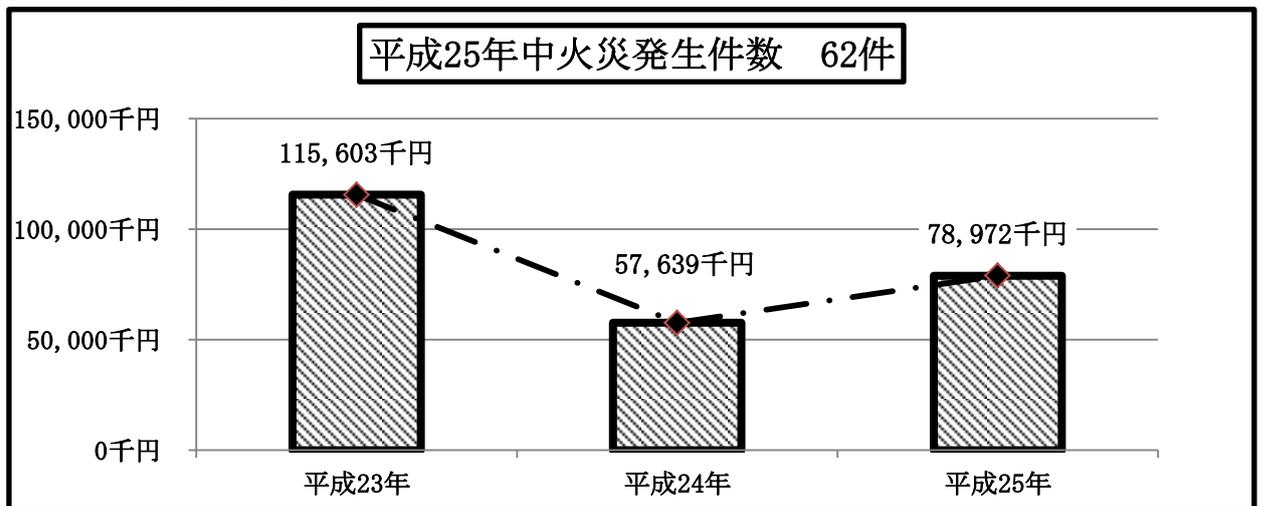
当管内における、過去3年間の火災損害額は、次の表のとおりである。

1-6表 火災損害額の推移

単位：千円

損害額	平成23年		平成24年		平成25年	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
建物火災	112,812	33	54,158	18	76,631	24
建物火災以外	2,791	23	3,481	24	2,341	38
合計	115,603	56	57,639	42	78,972	62

1-7図 火災損害額の推移



(8) 原因別火災発生状況

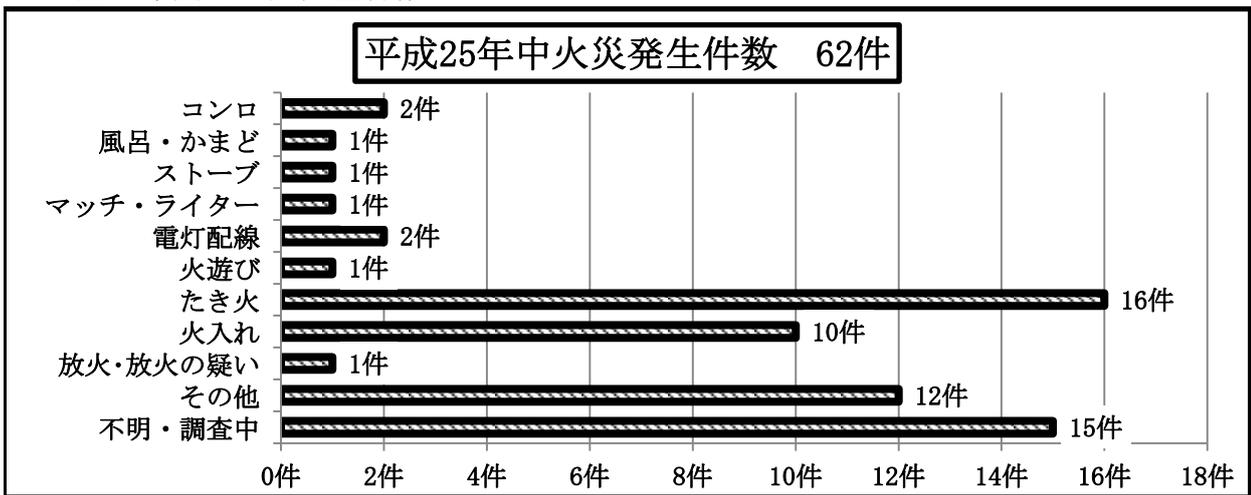
平成25年中の火災発生の原因は、「たき火」が16件と最も多く、次いで「火入れ」が10件となっている。(その他及び不明・調査中を除く。)

1-7表 原因別火災発生件数

参考(過去3年間)

出火原因	タバコ	コンロ	風呂・かまど	ストーブ	マッチ・ライター	電灯配線	火遊び	たき火	火入れ	放火・放火の疑い	その他	不明・調査中	合計
平成25年	0	2	1	1	1	2	1	16	10	1	12	15	62
平成24年	1	1	1	1	0	2	0	5	7	2	9	13	42
平成23年	4	2	1	1	4	2	2	12	4	1	9	14	56

1-8図 原因別火災発生件数



(9) 現場到着所要時間の状況

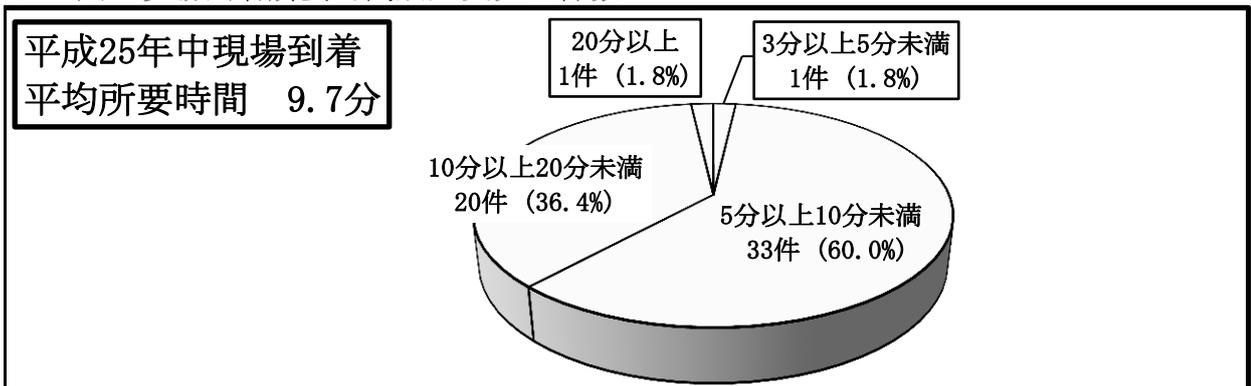
平成25年中の火災現場到着所要時間は、5分以上10分未満が最も多く33件(60.0%)で、現場到着までの平均所要時間は9.7分となっている。(事後聞き7件は除く。)

1-8表 現場到着所要時間別火災発生件数

(事後聞き 7件)

現場到着所要時間	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	計	最短時間	最長時間	平均時間
発生件数	0	1	33	20	1	55	3分	25分	9.7分

1-9図 現場到着所要時間別火災発生件数



2 平成25年中の救急業務状況

(1) 救急業務状況

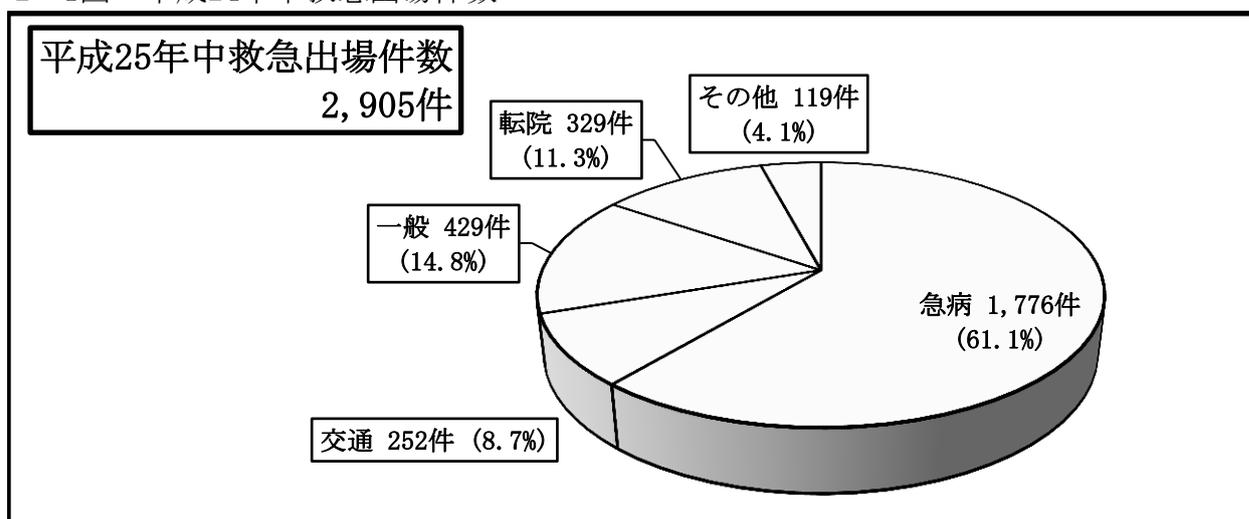
平成25年中における救急業務の実施状況をみると、救急出場件数が2,905件、搬送人員は、2,729人で、前年と比較して出場件数が17件（0.6%）の増加、搬送人員は前年と同数であった。

1日平均の出場件数が8.0件となり、管内住民71,287人（平成25年4月1日現在）の約26人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

2-1表 事故種別救急出場状況

事故種別	区分	平成25年		平成24年		比較	
		出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
急病		1,776	1,637	1,763	1,626	13	11
交通事故		252	267	269	288	△ 17	△ 21
一般負傷		429	397	376	353	53	44
労働災害		21	21	26	26	△ 5	△ 5
運動競技		31	31	23	22	8	9
自損行為		37	29	24	21	13	8
加害事故		13	9	14	11	△ 1	△ 2
水難事故		4	2	6	5	△ 2	△ 3
火災		4	4	3	3	1	1
自然災害							
その他	転院搬送	329	328	366	365	△ 37	△ 37
	医師搬送						
	機材搬送						
	その他	9	4	18	9	△ 9	△ 5
	小計	338	332	384	374	△ 46	△ 42
合計		2,905	2,729	2,888	2,729	17	

2-1図 平成24年中救急出場件数



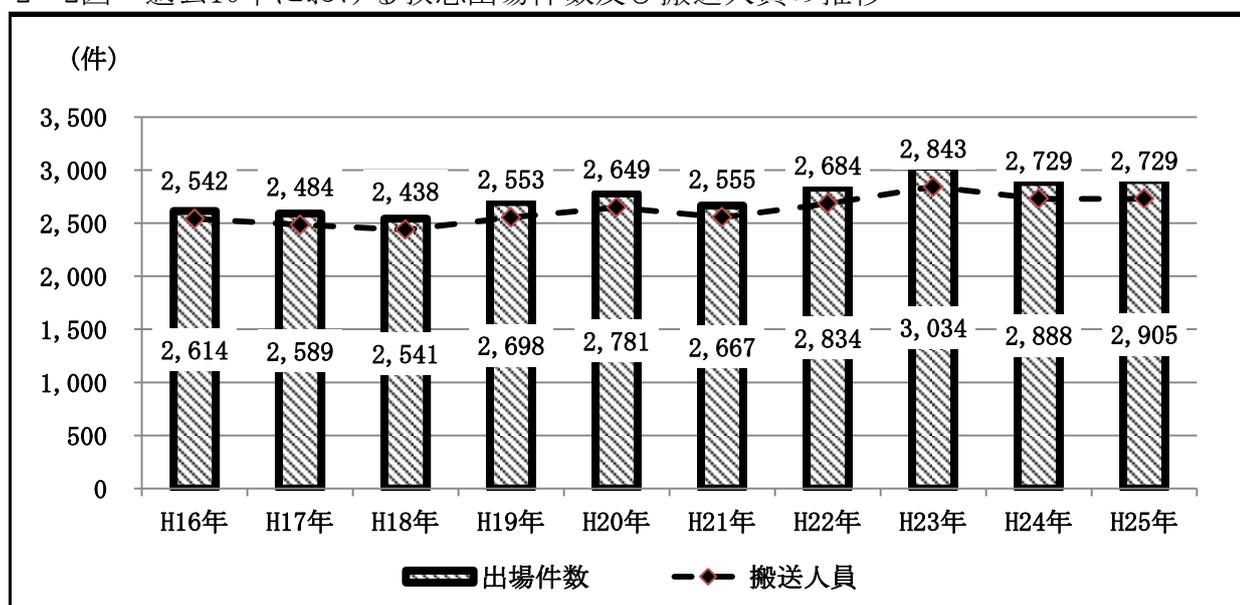
(2) 救急出場件数及び搬送人員の推移

過去10年間における構成町別の救急出場件数及び搬送人員は、次の表のとおりとなっている。

2-2表 構成町別救急出場件数及び搬送人員の推移

		高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	管轄外	計	うち高速道路上
H25	件数	934	583	197	695	493	3	2,905	(2)
	人員	866	547	182	661	471	2	2,729	(2)
H24	件数	980	575	143	682	507	1	2,888	(3)
	人員	903	545	131	658	492	0	2,729	(2)
H23	件数	1,000	609	175	742	507	1	3,034	(4)
	人員	919	558	164	703	497	2	2,843	(5)
H22	件数	922	550	189	702	470	1	2,834	(1)
	人員	846	523	188	677	450		2,684	(1)
H21	件数	840	530	180	626	490	1	2,667	
	人員	782	511	175	611	475	1	2,555	
H20	件数	916	584	193	642	444	2	2,781	
	人員	865	553	185	622	422	2	2,649	
H19	件数	897	549	174	632	446		2,698	
	人員	847	526	168	600	412		2,553	
H18	件数	831	543	139	562	463	3	2,541	
	人員	795	525	135	544	437	2	2,438	
H17	件数	784	503	166	682	453	1	2,589	
	人員	740	493	158	652	440	1	2,484	
H16	件数	816	508	170	654	459	7	2,614	
	人員	791	494	170	645	435	7	2,542	

2-2図 過去10年間における救急出場件数及び搬送人員の推移



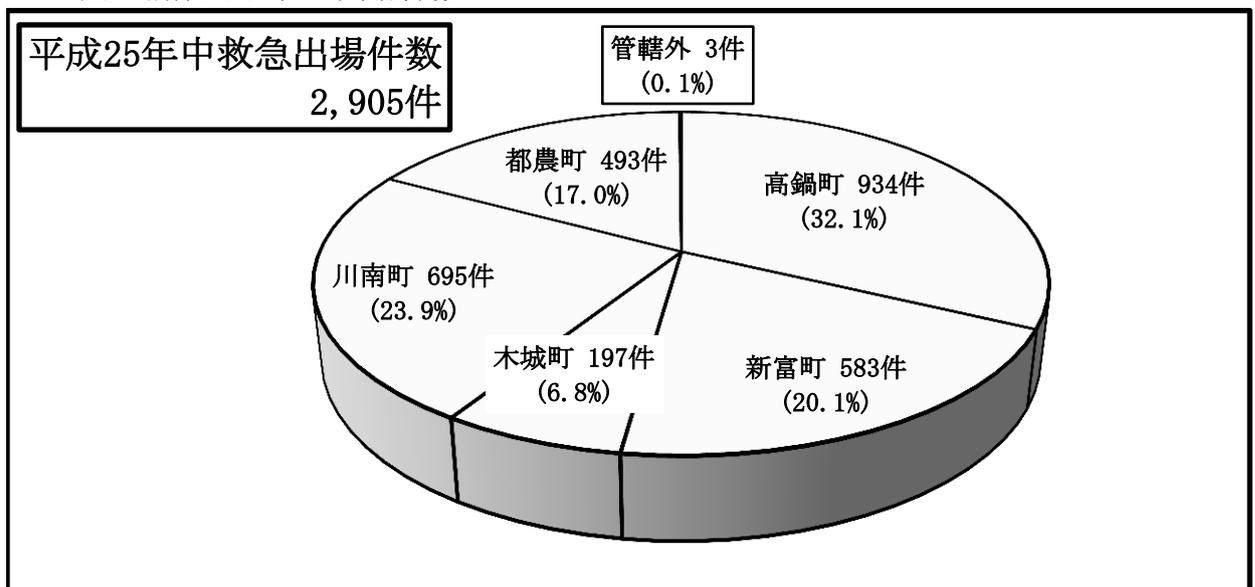
(3) 構成町別の事故種別救急出場件数

構成町別の事故種別救急出場件数の内訳は、次の表のとおりとなっている。

2-3表 構成町別救急出場件数

事故種別	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	管轄外	計	うち高速道路上
急病	547	375	143	427	283	1	1,776	(1)
交通事故	66	57	15	64	50		252	(1)
一般負傷	143	77	28	103	78		429	
労働災害	3	4	5	5	4		21	
運動事故	7	7	2	6	9		31	
自損事故	8	13	1	11	4		37	
加害事故	7	1	1	1	3		13	
水難事故		1			1	2	4	
火災事故		2			2		4	
自然災害								
その他	転院搬送	152	40	2	77	58	329	
	医師搬送							
	機材搬送							
	その他	1	6		1	1	9	
	小計	153	46	2	78	59	338	
総計	934	583	197	695	493	3	2,905	(2)

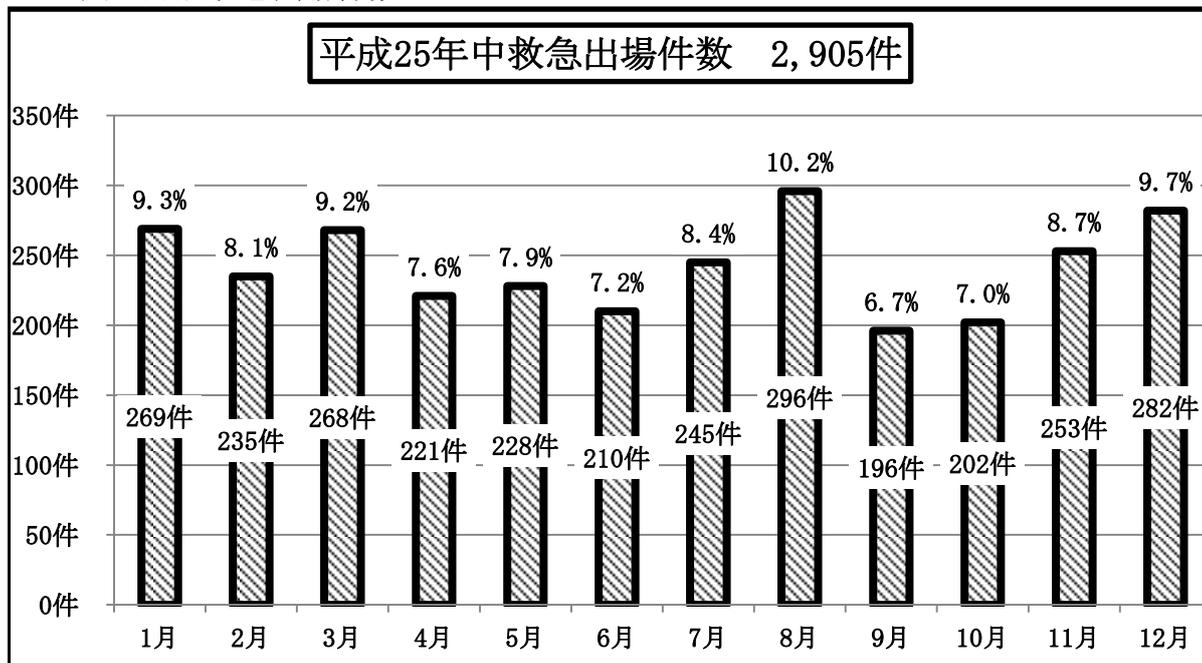
2-3図 構成町別救急出場件数



(4) 月別救急出場件数の状況

平成25年中の救急出場件数を月別にみると、8月が最も多く、次いで12月、1月の順となっている。

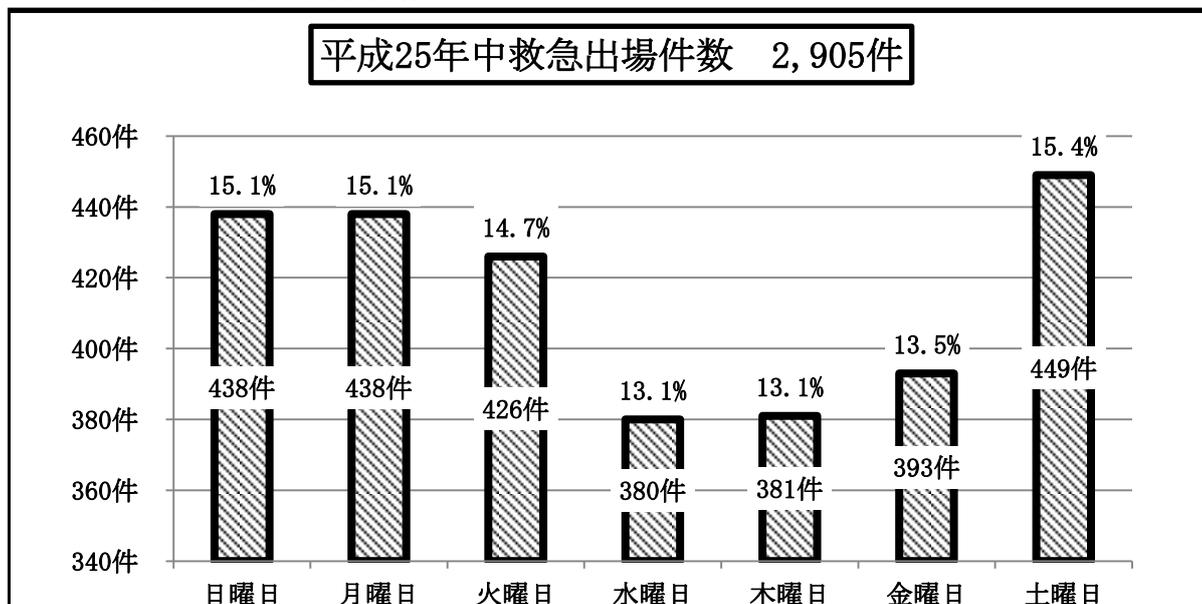
2-4図 月別救急出場件数



(5) 曜日別救急出場件数の状況

平成25年中の救急出場件数を曜日別にみると、土曜日が最も多く、水曜日が最も少なかった。

2-5図 曜日別救急出場件数



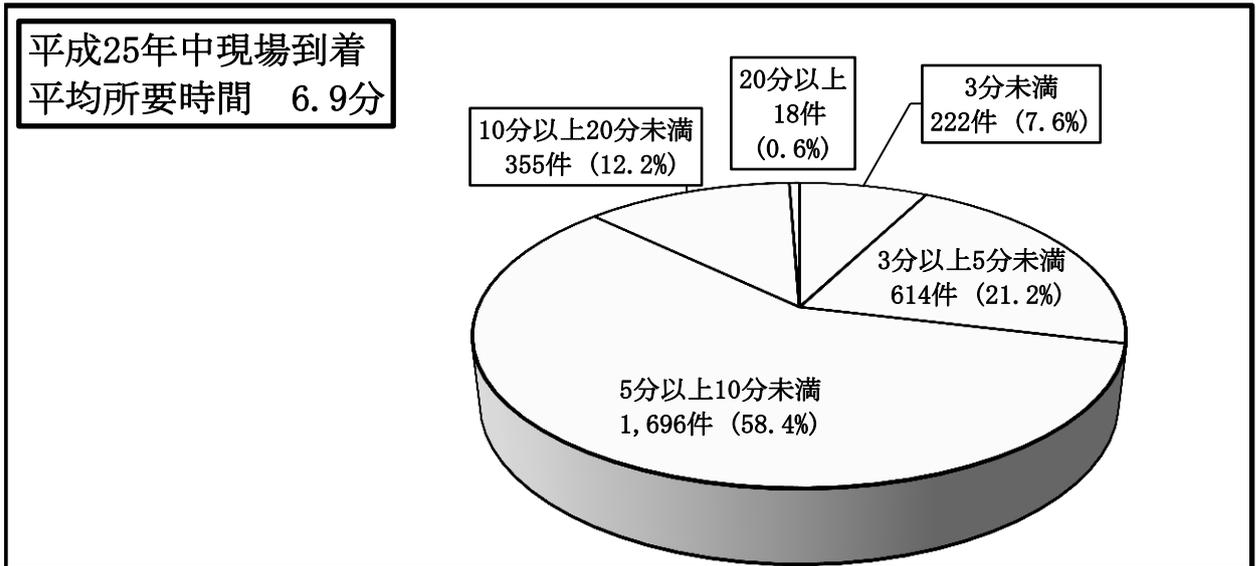
(6) 現場到着所要時間の状況

平成25年中の救急現場到着所要時間は、5分以上10分未満が最も多く1,696件(58.4%)で、現場到着までの平均所要時間は6.9分(全国平均所要時間8.3分(※平成24年中))となっている。

2-4表 現場到着所要時間別救急件数

所要時間	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	合計	最短時間	最長時間	平均時間
出場件数	222	614	1,696	355	18	2,905	0分	32分	6.9分

2-6図 現場到着所要時間別救急件数



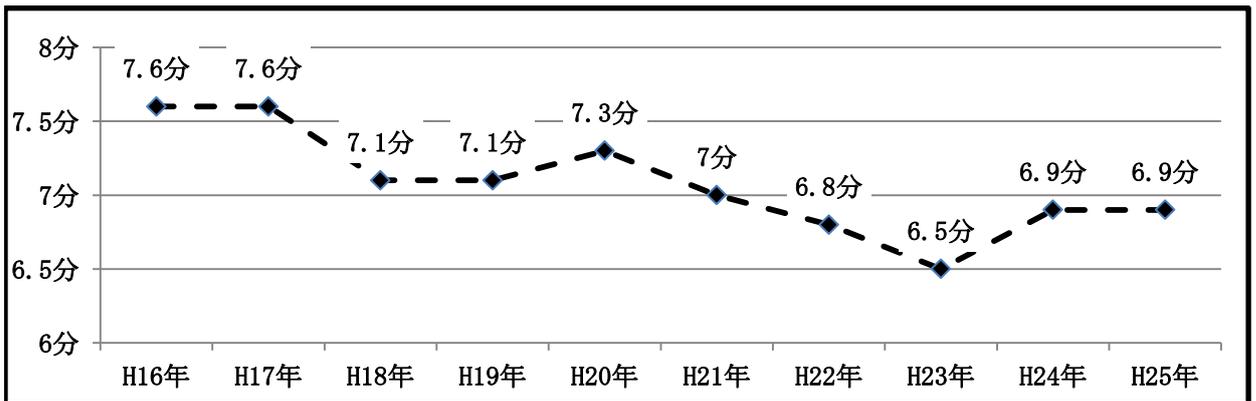
(7) 現場到着所要時間の推移

過去10年間における現場到着平均所要時間は、次の表のとおりである。

2-5表 現場到着平均所要時間の推移

年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
現場到着所要時間	7.6分	7.6分	7.1分	7.1分	7.3分	7分	6.8分	6.5分	6.9分	6.9分

2-7図 現場到着平均所要時間の推移



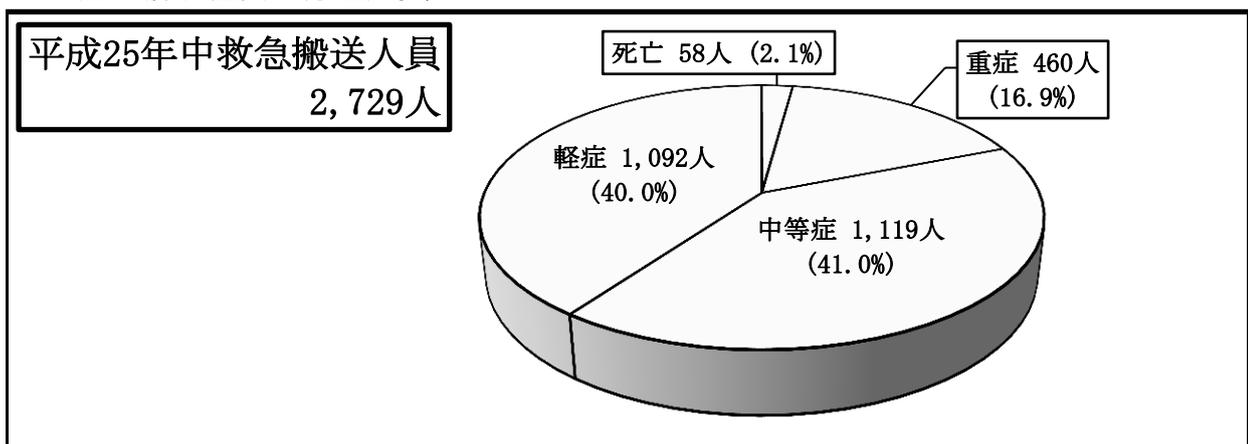
(8) 傷病程度別搬送人員の状況

平成25年中の搬送者を傷病程度別にみると、中等症が最も多く、次いで軽症、重症の順となっている。

2-6表 傷病程度別搬送人員

	急病	交通	一般	その他	合計
死亡	42	3	4	9	58
重症	215	32	79	134	460
中等症	692	70	127	230	1,119
軽症・その他	688	162	187	55	1,092
計	1,637	267	397	428	2,729

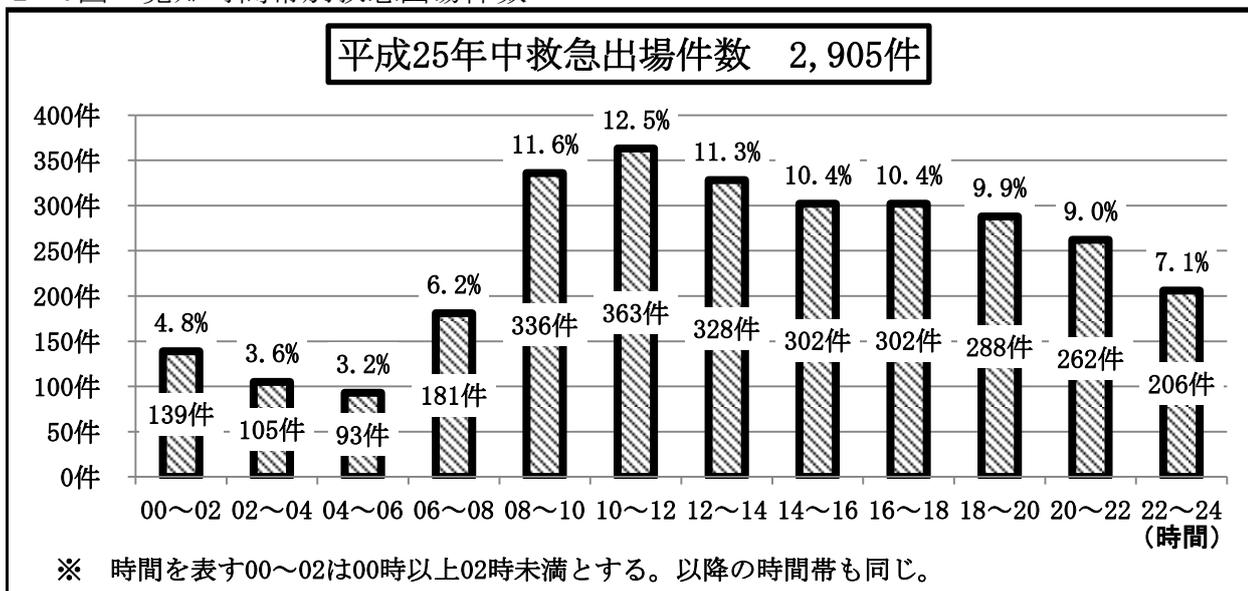
2-8図 傷病程度別搬送人員



(9) 覚知時間帯別救急出場件数

平成25年中の覚知時間帯別救急出場件数をみると、08時～22時までが多く、全体の75.1%を占めている。

2-9図 覚知時間帯別救急出場件数



(10) 医療機関別搬送人員の状況

平成25年中の医療機関別搬送人員をみると、救急告示医療機関が2,163人(79.3%)でその他の医療機関は564人(20.7%)となっている。

また、管外への搬送人員は1,316人(48.3%)となっている。

2-7表 医療機関別搬送人員

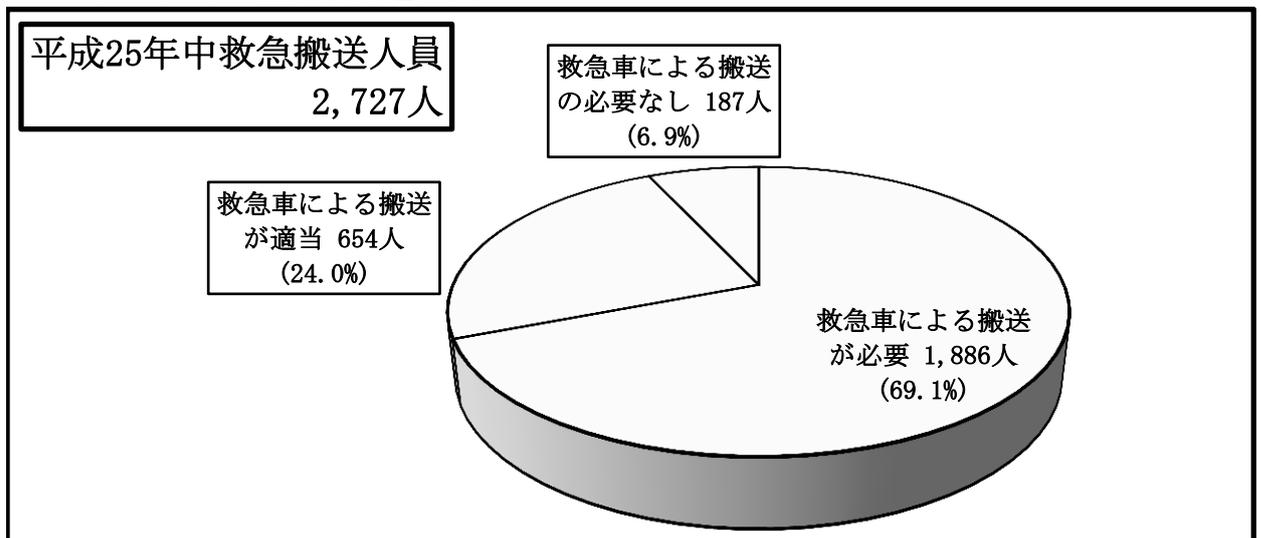
医療機関別		事故種別		交通事故		一般負傷		その他		合計		
		急病	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外				
救急告示 医療機関	国公立	385	177	109	31	146	47	125	75	765	330	
	公的	202	202	19	19	34	34	46	46	301	301	
	私的	病院	682	283	63	27	125	40	227	165	1,097	515
		診療所										
	小計	1,269	662	191	77	305	121	398	286	2,163	1,146	
その他の 医療機関	国公立	53	53			3	3	2	2	58	58	
	公的											
	私的	病院	126	41			6		12	7	144	48
		診療所	188	22	76	18	83	16	15	8	362	64
	小計	367	116	76	18	92	19	29	17	564	170	
合計		1,636	778	267	95	397	140	427	303	2,727	1,316	

(11) 医師の所見別搬送人員の状況

平成25年中の医師の所見別搬送人員をみると、「救急車による搬送の必要なし」は、187人(6.9%)で昨年(212人)より25人(11.8%)の減少となっている。

2-10図 医師の所見別搬送人員

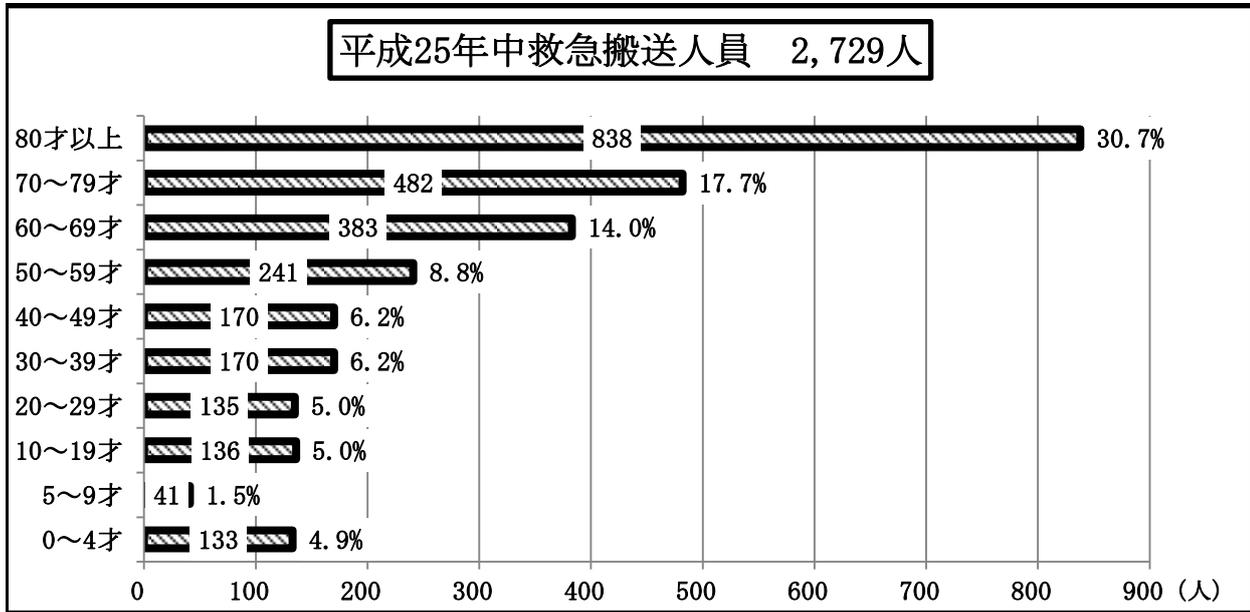
(※防災ヘリ、他消防本部へ引き継いだ2人を除く)



(12) 年齢別搬送人員の状況

平成25年中の年齢別搬送状況をみると、60歳からの急激な増加が見られ、全体の62.4%を占めている。

2-11図 年齢別搬送状況

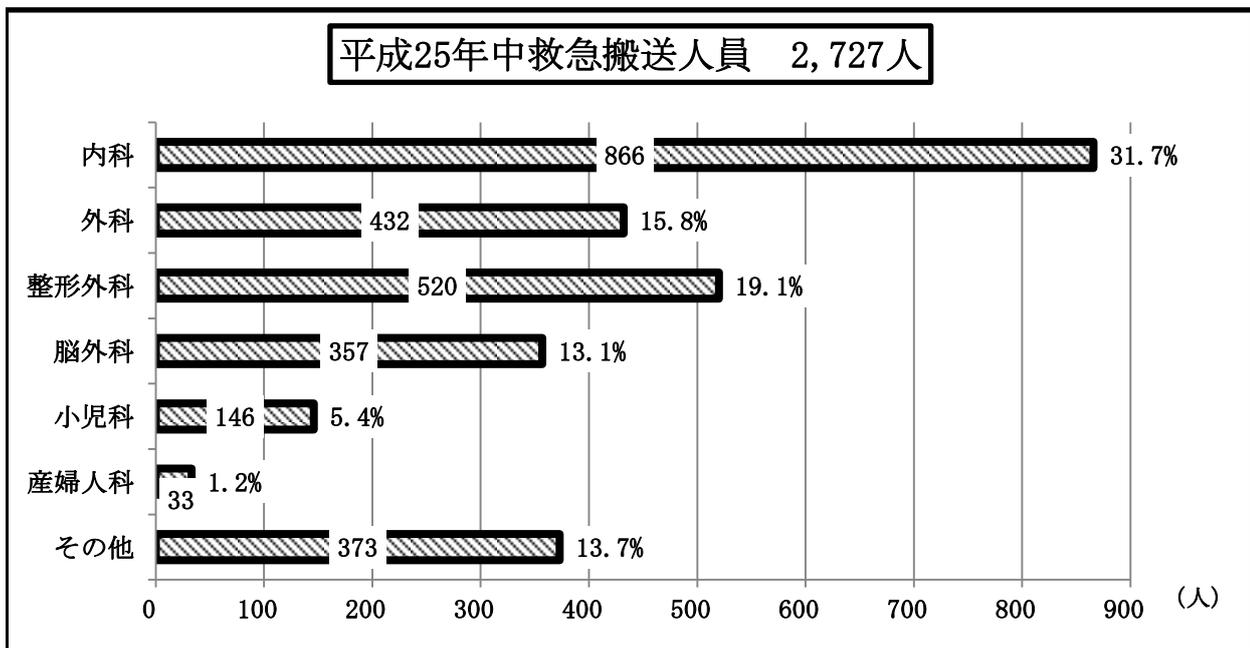


(13) 診療科目別搬送人員の状況

平成25年中の診療科目別搬送状況をみると、内科が全体の31.7%を占め、次いで整形外科の19.1%となっている。

2-12図 診療科目別搬送状況

(※防災ヘリ、他消防本部へ引き継いだ2人を除く)



3 平成25年中の救助業務状況

(1) 救助業務状況

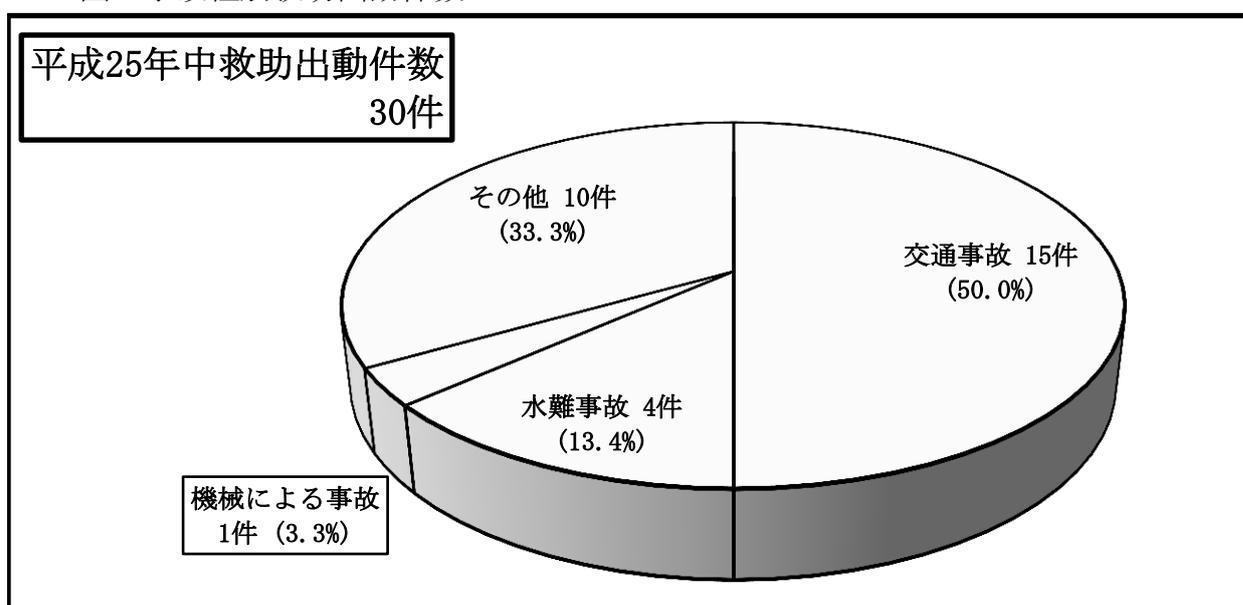
平成25年中における救助業務の実施状況は、出動件数30件、活動件数17件で、前年と比較すると、出動件数は4件の減少で、活動件数は3件の減少であった。

また、救助人員については19人で、前年より3人減少した。

3-1表 事故種別救助状況

区分	平成25年			平成24年		
	救助出動 (件)	救助活動 (件)	救助人員 (人)	救助出動 (件)	救助活動 (件)	救助人員 (人)
火災事故						
交通事故	15	7	8	20	9	11
水難事故	4	1	1	5	4	3
自然災害						
機械による事故	1			3	2	3
建物等による事故						
ガス及び酸欠事故						
破裂事故						
その他	10	9	10	6	5	5
合計	30	17	19	34	20	22

3-1図 事故種別救助出動件数



(2) 構成町別救助業務状況

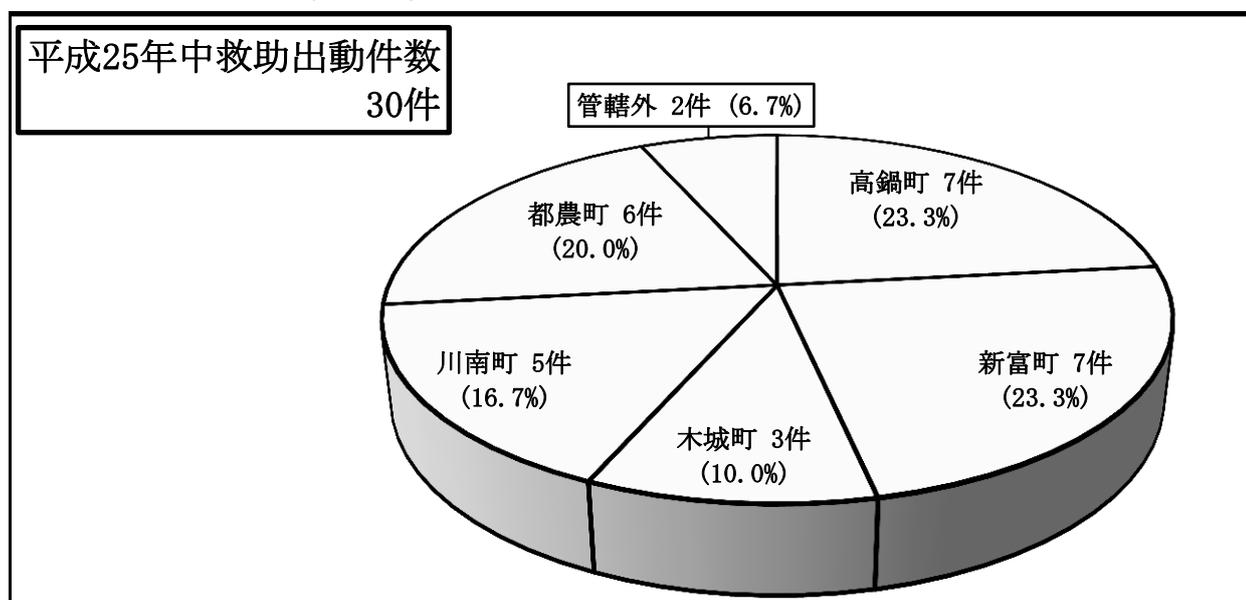
平成25年中の救助業務状況を構成町別にみると、高鍋町と新富町が最も多く7件であり、次いで都農町6件、川南町5件、木城町3件の順であった。

3-2表 構成町別救助業務状況

(平成25年中)

	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	管轄外	出動人員 (人)		出動車両 (台)	
								うち高速 道路上		うち高速 道路上
火災事故										
交通事故	5	4		2	4		143		56	
水難事故		1			1	2	45		17	
自然災害										
機械による事故			1				12		4	
建物等による事故										
ガス及び酸欠事故										
破裂事故										
その他	2	2	2	3	1		75		29	
計	7	7	3	5	6	2	275	0	106	0

3-2図 構成町別救助出動状況



第6 消防団



文化財防火デーに伴う訓練

(平成26年1月22日 高鍋町歴史資料館)

「つけた火は 消すまであなたの 責任です」

川南町商工会婦人防火クラブ 中村 京子 作

1 現 勢

(平成26年4月1日現在)

区分		町別					合 計
		高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	
消 防 団		1	1	1	1	1	5
消 防 分 団 数			4	2	2	3	11
消 防 団 部 数		16	17	13	14	15	75
人 員	定 員	285	269	160	243	360	1,317
	実 員	259	260	150	243	339	1,251
機 材	水 槽 付 消 防 ポンプ自動車	1	2	1		4	8
	消 防 ポンプ 自 動 車	3	2	1	3	1	10
	小 型 ポンプ 積 載 車	10	13	10	11	11	55

2 階級別状況

(平成26年4月1日現在)

区分		町別					合 計
		高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町	
消 防 団 長		1	1	1	1	1	5
消 防 副 団 長		2	2	2	2	2	10
分 団 長			4	2	2	3	11
指 導 員		2					2
部 長		16	17	13	15	16	77
班 長		88	63	48	56	48	303
団 員		150	173	84	167	269	843
合 計		259	260	150	243	339	1,251

3 階級別報酬額状況

(平成26年4月1日現在) (単位：円)

階級別 \ 町別	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町
消 防 団 長	249,000	261,000	258,000	249,000	261,000
消 防 副 団 長	190,000	199,000	195,000	190,000	199,000
分 団 長		164,000	161,000	157,000	164,000
指 導 員	157,000				
部 長	115,000	120,000	118,000	115,000	120,000
班 長	37,000	39,000	38,500	37,000	40,000
団 員	35,000	37,000	36,000	35,000	37,000

4 出動手当等

(平成26年4月1日現在) (単位：円)

区分 \ 町別	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町
災 害 出 場 手 当	2,000	3,000	5,000	2,200	3,000
訓 練 手 当	2,000	2,000	2,000	2,200	2,000
警 戒 手 当	2,000	3,000	2,000	2,200	2,000

5 年齢別人員状況

(平成26年4月1日現在) (単位：人)

区 分	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳以上	合計	平均年齢(歳)
高 鍋 町		21	57	59	62	41	12	7	259	34.1
新 富 町	2	24	69	92	57	15		1	260	31.3
木 城 町	1	11	15	27	47	30	6	13	150	37.2
川 南 町	5	22	79	88	36	6	1	6	243	30.3
都 農 町	4	23	43	80	76	35	34	44	339	37.3
合 計	12	101	263	346	278	127	53	71	1,251	34.0

6 勤続年数状況

(平成26年4月1日現在) (単位：人)

町別 \ 年数	5年未満	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30年以上	合計
高鍋町	79	63	61	41	13	2		259
新富町	100	85	57	15	3			260
木城町	38	28	34	30	16	4		150
川南町	85	79	61	13	4	1		243
都農町	142	73	70	38	13	2	1	339
合計	444	328	283	137	49	9	1	1,251

7 出場状況

(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

種別 \ 町別	高鍋町		新富町		木城町		川南町		都農町		合計	
	回	人員										
火災	9	794	7	455	3	247	6	268	7	230	32	1,994
風水害												
演習訓練	39	2,166	20	2,861	25	1,812	9	411	15	1,088	108	8,338
訓練指導	6	57					3	303	14	1,357	23	1,717
警防調査			1	7					1	6	2	13
特別警戒	3	74	2	108	2	47	7	137	2	45	16	411
捜索			4	401	2	395			1	16	7	812
予防査察												
その他	13	203	3	20	25	319	7	524	32	358	80	1,424
合計	70	3,294	37	3,852	57	2,820	32	1,643	72	3,100	268	14,709

8 消防団幹部・担当者名

(平成26年4月1日現在)

町別 区分	高鍋町	新富町	木城町	川南町	都農町
団 長	矢野 博彦	鬼塚 新一	矢野 哲也	網代 宗章	黒木 正之
副団長	加藤 重利	宮脇 国宏	吉良 清志	小松 克年	久米田 久栄
	熊本 宗弘	河崎 和美	清 哲郎	長友 竜二	金谷 安晃
分団長		山口 良治	高橋 茂義	二杉 勝広	黒木 昭二
		甲斐 顕一郎			河野 寿美
		高山 雄一	重永 建二	仲西 勝哉	黒木 美鶴
		西原 真悟			
指導員	金崎 毅				
	小澤 正隆				
消防主任	鈴木 敏寛	河野 康治	森 晃一	芥田 武士	又川 俊

9 消防協会東児湯支部役員名

(平成26年4月1日現在)

役 職 名	氏 名	備 考
支 部 長	網代 宗章	川南町消防団長
副支部長	矢野 哲也	木城町消防団長
副支部長	鬼塚 新一	新富町消防団長
監 事	矢野 博彦	高鍋町消防団長
監 事	黒木 正之	都農町消防団長
事務局長	芥田 武士	川南町消防主任

資料 消防組合の沿革



水上バイク (RESCUE 1)

(本署に配置 平成25年8月26日より運用開始)

「火がみてる あなたの油断と その隙を」

木城町女性防火クラブ 松浦 律子 作

消防組合の沿革

昭和			
44.	3. 27	東児湯 5ヶ町村総務課長、消防主任者合同会議に於いて県消防防災課より広域消防組合結成について説明	
	5. 19	郡内関係町村会議の席上、県消防防災課より広域消防組合について説明	
	7. 1	東児湯関係 5ヶ町村長、消防団長、消防主任者合同協議会を開催、県係官の出席を求め、広域消防について説明を受ける。	
	7. 1	各町村助役及び消防主任者による調査委員会を設ける。	
	7. 10	第 1 回調査委員会開催 第 2 回(7.24) 第 3 回(8.7)	
	8. 24	調査委員会による先進地視察を実施、千葉県小見川町外 2 町消防組合、佐原市外 5 町消防組合、高知県香南消防組合、徳島県美馬西部消防組合を視察する。	
	12. 23	第 1 回関係町村長協議会	
45.	3. 17	第 2 回関係町村長協議会	
		各町村間の合意が整い 3 月の議会にそれぞれ組合規約を提案し議決された。	
	4. 1	政令指定を受ける。	
	5. 30	一部事務組合の設立許可・組合設置	
	7. 23	関係 5 町村長、議会議長、議会総務委員長、消防団長各 1 名合計 20 名をもって宮崎県東児湯消防組合議会を構成、議長・副議長選出、管理者に高鍋町長、岩村一郎氏選任	
	8. 20	宮崎県東児湯消防組合議会第 2 回臨時会開催、組合助役、組合収入役、監査委員の選任、諸条例の制定、昭和 45 年度歳入歳出予算可決、職員定数条例定員消防吏員 70 名、事務吏員 2 名となる。	
	9. 19	第 1 回消防士採用試験実施	
	10. 1	宮崎県東児湯消防組合消防本部消防署発足	
	10. 6	元高鍋町消防団本部庁舎を東児湯消防組合消防本部仮庁舎として借用	
	10. 14	消防長に丸田元一氏就任	
	10. 15	職員 14 名採用	
	12. 1	救急自動車(A級 トヨタ) 1 台購入、本署に配置	
	12. 15	救急業務を開始する。	
46.	1. 5	救急自動車(B級 日産)を日本自動車工業会から寄贈、都農分遣所に配置	
	1. 5	都農分遣所を都農町役場庁舎 3 階と 2 階の一部を仮庁舎とし借用、職員 7 名で業務を開始する。	
	3. 28	水槽付消防ポンプ車(1-B型 いすゞ) 2 台購入、本署及び都農分遣所に配置	
	4. 1	職員 26 名採用、計 44 名となる。	
	6. 25	都農分遣所新庁舎建設落成、新庁舎に移転	
	12. 22	水槽付消防ポンプ車(1-B型 いすゞ)を購入、川南分遣所に配置予定	
47.	1. 25	水槽付消防ポンプ車(1-B型 いすゞ)を購入、新富分遣所に配置予定	
	3. 15	消防本部(署)庁舎落成、新庁舎に移転	

47.	3.	23	指令車を購入、本部に配置、救急車(B級 日産)を購入、救急車(2B型トヨタ)日本損害保険協会より寄贈、川南分遣所に配置予定
	4.	1	消防本部(署)開庁式を行う。 職員14名採用、計58名となる。
	4.	7	新富・川南分遣所新庁舎落成開設、水槽付消防ポンプ自動車、救急車各1台を配置、職員各10名で業務を開始する。
	7.	1	職員1名採用、計59名となる。
	12.	9	消防ポンプ車(A3級 日産)を購入、本署に配置
48.	3.	30	木城分遣所新庁舎落成、水槽付消防ポンプ車(1-B型 日産)を購入、木城分遣所に配置
	4.	1	木城村町制施行
	4.	2	職員7名採用、計66名となる。 木城分遣所開設、水槽付消防ポンプ自動車配置、職員7名で業務を開始
	4.	12	組合規約一部改正(木城村町制施行に伴うもの)
	6.	1	宮崎県東児湯消防組合火災予防条例公布
	10.	1	消防本部に総務課、消防課の2課を設置
	10.	1	職員1名採用、計67名となる。
49.	3.	3	宮崎地方气象台より気象観測器具一式を設置
51.	3.	31	査察車を購入、消防課に配置
	4.	1	職員6名採用、計73名となる。
	7.	31	職員1名退職、計72名となる。
	10.	22	消防組合収入役 山本正直氏退職、後任に岩切正美氏就任
52.	3.	15	新富分遣所庁舎の防音冷暖房工事完了
	6.	10	救助技術訓練塔を建設
	8.	21	危険物査察車を購入、消防課に配置
	10.	1	消防本部の消防課を警防課と予防課に分課する。
	11.	5	職員定数条例を改正し定数77名(消防吏員75名、事務吏員2名)となる。
	11.	29	救助工作車を購入、本署に配置
	12.	2	消防本部車庫を建設
	12.	20	消防組合助役 河野愛二氏退職
	12.	23	消防長 丸田元一氏退職、高鍋町助役並びに消防組合助役に就任
53.	1.	24	消防組合管理者 岩村一郎氏退職、消防組合助役が職務代行する。
	2.	17	本部(本署)庁舎に自家発電設備(35kVA)を設置
	3.	1	救急車(2B型 日産)を購入、本署に配置(更新)
	3.	10	組合管理者に高鍋町長 渋谷清明氏就任
	4.	1	消防長に児玉実秀氏就任(新富町から出向)
	4.	1	職員4名採用、計76名となる。
	6.	19	消防組合助役 丸田元一氏退職
	7.	28	九州地区消防救助技術指導会(大分市) 初参加(12名出場)
	8.	29	救急車(2B型 日産) 日本防火協会より寄贈、新富分遣所に配置(更新)

11.	2	救急車(2B型 日産)を購入、都農分遣所に配置(更新)
12.	26	職員定数条例を改正し定数81名(消防吏員79名、事務吏員2名)となる。
54.	2.	7 全国消防長会九州支部消防職員駆伝大会出場
	3.	28 本部(本署)庁舎を増築併せて防音改造工事
	4.	1 職員4名採用、計80名となる。
10.	9	安全運転管理優良事業所として、高鍋警察署長、高鍋地区交通安全協会会長表彰を受賞する。
55.	3.	5 救急車(2B型 トヨタ)を購入、川南分遣所に配置(更新)
	6.	28 アスナロ消防子供会が結成される。(都農町)
	7.	4 指令車を購入、本部に配置
	9.	1 川南商工会婦人防火クラブが結成される。(川南町)
10.	17	救助工作車を高鍋信用金庫より寄贈、しらゆり号と称して本署に配置(更新)
10.	30	消防組合発足10周年記念式典開催
12.	15	水槽付消防ポンプ車(Ⅱ型 三菱)を購入、木城分遣所に配置(更新)
12.	22	水槽付消防ポンプ車(Ⅱ型 日野)を購入、本署に配置(更新)
12.	27	職員定数条例を改正し定数85名(消防吏員83名、事務吏員2名)となる。
56.	5.	1 職員4名採用、計84名となる。
12.	24	水槽付消防ポンプ車(Ⅱ型 日野)を購入、新富分遣所に配置(更新)
57.	3.	4 消防組合管理者 渋谷清明氏退職、消防組合助役が職務代行する。
	3.	8 組合管理者に高鍋町長 吉本盛光氏就任
	3.	31 職員1名退職、計83名となる。
	4.	19 救急車(2B型 トヨタ)2台が宮崎県共済農業協同組合連合会より寄贈、本署及び都農分遣所に配置(更新)
	5.	1 職員1名採用、計84名となる。
	5.	1 消防組合助役 河野愛二氏退職
	5.	20 はやぶさ少年消防クラブが結成される。(新富町)
	5.	25 中之叉婦人防火クラブが結成される。(木城町)
	6.	12 春日婦人防火クラブが結成される。(新富町)
	6.	14 消防組合助役に黒木鎮夫氏就任
10.	19	日本防火協会より東児湯少年婦人防火委員会が優良防火委員会として表彰される。
11.	1	各分遣所に所長を配置
11.	28	本部庁舎屋上に書庫を増設
58.	1.	29 水槽付消防ポンプ車(Ⅱ型 日野)2台更新、川南及び都農分遣所に配置する。
	3.	31 職員1名退職、計83名となる。
	4.	30 消防長 児玉実秀氏新富町へ復職、計82名となる。
	5.	1 消防組合助役 黒木鎮夫氏消防長事務取扱となる。
	5.	1 職員1名採用、計83名となる。
	6.	1 消防長に 河野信夫氏就任
	8.	2 日本防火協会より、アスナロ消防子供会が表彰される。

	8. 23	潮少年消防クラブが結成される。(高鍋町)
	9. 4	宮崎県赤十字救急法競技大会で優勝
59.	2. 16	救助工作車(Ⅱ型 いすゞ)を購入、本署に配置(更新)
59.	3. 31	消防組合助役 黒木鎮夫氏退職
	5. 1	消防組合助役に 小松俊一郎氏就任
	8. 27	救急車(2B型 日産)日本防火協会より寄贈、川南分遣所に配置(更新)
	10. 22	査察車を購入、予防課に配置(更新)
	12. 21	消防組合収入役 岩切正美氏退職
	12. 22	消防組合収入役に 蓑毛秀大氏就任
60.	3. 29	消防庁長官より、優良団体としてアスナロ消防子供会が表彰される。
	4. 1	職員1名採用、計84名となる。
	7. 19	日本防火協会より、高鍋幼稚園、信楽寺保育園が優良幼年消防クラブとして全国表彰される。
	8. 29	日本防火協会より、はやぶさ少年消防クラブが表彰される。
	11. 1	都農町婦人防火クラブが結成される。
61.	1. 31	指令装置及び電話の整備
	3. 4	組合管理者高鍋町長 吉本盛光氏退職
	3. 5	消防組合助役 小松俊一郎氏退職
	3. 7	組合管理者に高鍋町長 臼杵直孝氏就任
	3. 7	給料表を「等級」から「級」制度に改正
	4. 18	救急車(2B型 トヨタ)2台が宮崎県共済農業共同組合連合会より寄贈、本署に配置(更新)
	5. 7	事務連絡車を購入、総務課に配置(更新)
	6. 19	防災指導車を購入、警防課に配置(更新)
	7. 18	消防組合助役に 沼熊夫氏就任
	12. 19	救急車(2B型 トヨタ)を購入、新富分遣所に配置(更新)
62.	2. 10	沼助役が消防長事務取扱となる。(消防長病気休職)
	2. 19	組合規約を改正する。(組合議員10名 副管理者制度を導入)
	3. 26	消防庁長官より、優良団体としてはやぶさ少年消防クラブが表彰される。
	4. 1	副管理者に都農町長 永友敬通氏、川南町長 黒木修氏、木城町長、鶴田国利氏、新富町長 吉田良治氏及び高鍋町助役 沼熊夫氏就任
	5. 10	消防長に 河野義雄氏就任
	9. 22	救急車(2B型 日産)を社団法人日本損害保険協会より寄贈、都農分遣所に配置(更新)
	9. 27	副管理者に都農町長 土工千志夫氏就任
	12. 24	消防組合負担金条例改正
63.	3. 9	日本防火協会より、はやぶさ少年消防クラブが表彰される。
	4. 30	職員1名退職、計83名となる。
	12. 19	消防組合収入役 蓑毛秀大氏退職
64.	1. 7	昭和天皇崩御に伴い、年号が「平成」となる。

平成		
1.	3. 28	消防庁長官より、最優秀団体としてアスナロ消防子供会が表彰される。
	4. 1	消防組合収入役に 森正廣氏就任
	4. 1	機構改革に伴い、職員 5 名を構成町に派遣、計 7 8 名となる。
1.	4. 1	予防課と警防課を統合し消防課となる。
2.	3. 31	消防長 河野義雄氏が退職
	3. 31	派遣職員 3 名が消防組合を退職し、構成町に身分移管する。
	4. 1	消防長に 河野信夫氏就任
	4. 1	職員 2 名採用、計 7 9 名となる。
	5. 8	高城町婦人防火クラブが結成される。(木城町)
	11. 20	消防組合発足 2 0 周年記念式典開催
	12. 5	職員 1 名死亡退職、計 7 8 名となる。
3.	2. 14	救急車(2B型 いすゞ)を社団法人日本自動車工業会より寄贈、川南分遣所に配置(更新)
	3. 31	派遣職員 1 名が消防組合を退職し、構成町に身分移管する。
	4. 1	機構改革に伴い、職員 5 名を構成町に派遣、7 3 名となる。
	4. 1	消防無線及び 1 1 9 番の集中管理により、消防課を警防通信課と予防課に分課する。
	7. 15	通浜婦人防火クラブが結成される。(川南町)
	10. 18	第 1 3 回幼年消防全国大会(宮崎市)に管内園児 1 1 0 名参加
4.	1. 1	パソコンを導入し業務を開始する。
	2. 19	水槽付消防ポンプ車(Ⅱ型 日野)を購入、本署に配置(更新)
	3. 27	消防庁長官より、最優秀団体として潮少年消防クラブが表彰される。
	3. 31	派遣職員 3 名が消防組合を退職し、構成町に身分移管する。
4.	4. 1	職員 2 名採用、計 7 5 名となる。
	4. 20	沼副管理者が消防長事務取扱となる。(消防長病気休職)
	8. 31	職員 1 名退職、計 7 4 名となる。
5.	2. 19	消防庁長官より、優良団体として中之又婦人防火クラブが表彰される。
	3. 11	救急車(2B型 トヨタ)が社団法人日本自動車工業会より寄贈、新富分遣所に配置(更新)
	3. 25	救助訓練塔改修整備
	3. 31	派遣職員 3 名が消防組合を退職し、構成町に身分移管する。
	3. 31	職員 1 名退職、計 7 3 名となる。
	4. 1	職員 2 名採用、計 7 5 名となる。
	4. 18	消防組合管理者に 木城町長 黒木傳氏就任、副管理者に高鍋町町白杵直孝氏及び木城町助役 小嶋輝弘氏就任
5.	4. 18	消防組合収入役に木城町収入役 深水郁夫氏就任
	5. 26	高鍋町において宮崎県総合防災訓練が実施される。
	7. 15	九州地区消防救助技術指導会(大分県) 4 名出場、個人 1 名、団体 1 チーム入賞

11.	18	自治体消防40周年大会に2名参加。(東京都)
6.	3. 23	本署仮眠室、食堂改修整備
	3. 31	職員1名退職、計74名となる。
	4. 1	消防長に稲田三千男氏就任(宮崎県警察本部から出向)
	4. 1	職員5名採用、計80名となる。
	7. 1	「応急手当の普及啓発の推進に関する規則」を制定する。
	7. 14	九州地区消防救助技術指導会(沖縄県)6名参加、個人1名、団体1チーム入賞
	9. 4	高鍋町内繁華街において「第1回救急フェア」を実施する。
	9. 8	第1回「応急手当普通救命講習会」を行い9名に修了証を交付する。
11.	2	日本防火協会より、優良婦人防火クラブとして新富町の春日婦人防火クラブが表彰される。
7.	3. 10	指令車を購入、本部に配置(更新)
	3. 16	水槽付消防ポンプ車(Ⅱ型 日野)を購入、木城分遣所に配置(更新)
	3. 26	比木婦人防火クラブが結成される。(木城町)
	3. 29	救急車(2B型 トヨタ)をJA共済から寄贈、川南分遣所に配置(更新)
	4. 1	職員3名採用、計83名となる。
	6. 19	宮崎県消防相互応援協定が改定される。
	7. 1	消防組合管理者に 川南町長 河野寛一氏就任
	9. 1	川南町通浜地区を「住宅防火モデル地区」に指定する。(460世帯)
12.	15	救助工作車(Ⅱ型 三菱)を購入、本署に配置(更新)
8.	2. 27	高規格救急車(トヨタ)を購入、本署に配置
	3. 18	小型ポンプ付水槽車(Ⅱ型 三菱)を購入、本署に配置
	3. 26	事務連絡車(トヨタ)を高鍋ロータリークラブから寄贈、本部に配置
	3. 31	稲田三千男消防長が退職し、宮崎県警察本部に復職
	4. 1	消防長に谷口教雄氏就任(宮崎県警察本部から出向)
	4. 1	職員1名採用、計84名となる。
	4. 1	宮崎県防災行政無線(地上系)の運用開始
	5. 7	都農町国民健康保険病院にて第1回病院内研修を実施する。
	5. 15	救急救命士誕生(橋 重文消防士長)
	6. 28	指揮車を購入、本署に配置(更新)
	9. 13	第1回救急救命技術競技会開催
10.	30	第1回消防職員委員会を開催
11.	28	都農町国民健康保険病院にて第1回救急事例研修会を実施する。
12.	4	資機材搬送車を購入、本署に配置
9.	1. 19	川南ライオンズクラブから心肺蘇生教育人体モデル1体寄贈
	3. 1	第1回消防フェアを高鍋町内にて開催
	4. 1	職員1名採用、計85名となる。
	5. 28	予防広報車を購入、本部に配置
	7. 1	消防組合管理者に 都農町長 河野通継氏就任

10.	1.	29	都農分遣所水槽付消防ポンプ車(水Ⅱ型) 更新整備(大型車)
	3.	2	川南分遣所水槽付消防ポンプ車(水Ⅱ型) 更新整備(大型車)
	3.	31	谷口数雄消防長が退職し、宮崎県警察本部に復職
	4.	1	消防長に清藤猛氏就任(宮崎県警察本部から出向)
11.	2.	17	高規格救急車(トヨタ)を購入、都農分遣所に配置
	3.	20	新富分遣所水槽付消防ポンプ車(水Ⅱ型) 更新整備(大型車)
11.	3.	26	事務連絡車(日産)を購入、本部に配置(更新)
	7.	1	消防組合管理者に 新富町長 太田直満氏就任
	11.	12	高規格救急車(トヨタ)を購入、新富分遣所に配置
12.	3.	13	清藤猛消防長が退職し、宮崎県警察本部に復職
	3.	14	消防長に金丸弘氏就任(宮崎県警察本部から出向)
	3.	23	予防査察車(ホンダ)を購入、本部に配置(更新)
	4.	1	分遣所長の階級を「消防司令」制とする。
	5.	29	県救助技術指導会に15名参加、うち個人1名、団体3チーム入賞
	8.	22	消防庁舎等移転用地取得
	11.	9	第1回消防庁舎建設政務調査(長崎県央地域・春日大野城・柳川市) 第2回(11月20日、21日)
13.	5.	22	高鍋町において、宮崎県総合防災訓練が実施される。
	6.	28	職員定数条例を改正し、定数96名となる。
	7.	1	消防組合管理者に 高鍋町長 吉本光朗氏就任
14.	3.	17	金丸弘消防長が退職し、宮崎県警察本部に復職
	3.	18	消防長に小野学氏就任(宮崎県警察本部から出向)
	3.	31	職員2名退職
	4.	1	職員3名採用、計86名となる。
	8.	8	消防庁舎・防災センター、建設工事着工
	11.	28	拠点避難地・ヘリコプター離着陸場工事着工
15.	3.	10	高規格救急車(トヨタ)を購入、川南分遣所に配置
	3.	25	拠点避難地・ヘリコプター離着陸場完成
	3.	25	起震車(日野)を購入、本署に配置
	3.	31	職員2名退職
	4.	1	職員3名採用、計87名となる。
	7.	1	消防組合管理者に 木城町長 田口晃史氏就任
	7.	31	消防庁舎・防災センター、建設工事完了
	11.	1	新庁舎へ業務移転する。(通信指令業務を除く。)
16.	3.	17	新庁舎へ全業務移転する。
	3.	30	職員4名退職
	3.	31	小野学消防長が退職し、宮崎県警察本部に復職
	4.	1	消防長に山内義行消防監が就任
	4.	1	職員4名採用、計86名となる。
	5.	20	消防庁舎・防災センターの落成式を開催

16.	10.	1	宮崎県防災救急航空隊へ職員1名派遣（福屋光之郎士長）
17.	3.	30	職員3名退職
	4.	1	職員5名採用、計88名となる。
	7.	1	消防組合管理者に川南町長 内野宮正英氏就任
	8.	31	正副管理者会議で旧消防庁舎の解体を決定
	9.	5	台風14号襲来
		~	防災センターに避難場所開設 252名収容 高岡町に応援協定に基づく救助隊派遣（浸水家屋から住民救助）
	9.	6	水道施設破損に伴う給水活動（高鍋・新富・都農）
	10.	20	日本赤十字社宮崎県支部から「献血功労賞」受賞
	12.	21	第1回宮崎県消防救急無線広域化検討委員会が開催される。
18.	3.	23	元消防庁舎解体工事完了 都農分遣所防水・塗装工事完了
	3.	31	職員5名退職
	4.	1	職員5名採用、職員数88名となる。 宮崎県防災救急航空隊派遣職員、福屋光之郎士長から田牧利文士長に交代
	4.	14	総務省消防庁応急対策室長等来庁
	4.	19	防災センター来館者 1万人達成セレモニー
	5.	15	救急出動で帰所中の都農救急車が大型トラックに追突され職員3名が負傷
	5.	25	正副管理者会議を開催、消防組合施設等整備10年計画案を提示する。
	5.	28	宮崎県総合防災訓練五ヶ瀬町・高千穂町等で開催、起震車展示
	8.	24	全国消防救助技術指導会（北海道）のロープ渡過競技に河野孝之士長出場、入賞
19.	2.	14	（財）日本防火協会から寄贈の和太鼓セットを川南町通浜児童館に交付する。
	3.	31	職員2名退職
	4.	1	職員5名採用（うち1名は救急救命士）、職員数91名となる。
	5.	10	九州地区消防職員意見発表会で石原大消防士優秀賞（準優勝）受賞
20.	2.	29	日本自動車工業会から高規格救急車の寄贈、都農分遣所へ配置
	3.	7	自治体消防60周年を迎える。
	3.	31	職員4名退職
	4.	1	消防組合管理者に都農町長 河野正和氏就任 職員4名採用、職員数91名となる。 宮崎県防災救急航空隊派遣職員、田牧利文士長から相馬英夫司令補に交代
	8.	29	全国消防救助技術指導会（北九州市）のロープ渡過競技に長友剛消防士出場、入賞 ロープ応用登はん競技に則信雅博消防士・三輪尚正消防士出場、入賞
21.	2.	10	（財）日本防火協会から寄贈の電子ピアノ・電子オルガンを木城町中央保育所に交付する。
	3.	31	職員3名退職
	4.	1	職員4名採用、職員数92名となる。

21.	5.	24	高鍋町及び木城町において、宮崎県総合防災訓練が実施される。
22.	1.	26	(財)日本防火協会から寄贈の鉄琴・木琴・ハンドベル等の楽器を新富町立新田保育所に交付する。
	2.	10	水槽付ポンプ車(水Ⅱ型)購入、本署に配置(更新)
	3.	5	小型動力ポンプ(4サイクル・B2級)購入、本署水槽車に積載(更新)
	3.	31	職員4名退職
	4.	1	消防組合管理者に新富町長 土屋良文氏就任
	4.	1	職員6名採用(うち1名は救急救命士)、職員数94名となる。
	9.	1	位置情報通知システム(統合型)の運用開始。(消防庁の実証実験対象)
	10.	28	高規格救急車(日産)を購入(新規整備)、本署に配置し2台となる。
	11.	1	本署救急課が4係制となり、木城分遣所が廃止となる。
23.	1.	14	(財)日本防火協会から寄贈のデジタルピアノ・バスドラム・タンバリン・ハンドベル・スネアキット等の楽器を都農町立さつき保育所に交付する。
	3.	1	指令車(スズキ)を購入、本部に配置(更新)
	3.	14	東日本大震災の被災地(岩手県陸前高田市)へ緊急消防援助隊宮崎県隊として救急隊(瀬川幸一郎司令補、益田敬志士長、久家孝太消防士)を派遣
	3.	21	緊急消防援助隊宮崎県隊(救急隊)が任務を終え帰還
	3.	31	山内義行消防長以下職員9名退職
	4.	1	消防長に村田龍男司令長が就任
	4.	1	新規職員6名、再任用職員3名を採用し、職員数94名となる。
	4.	1	宮崎県防災救急航空隊派遣職員、相馬英夫司令から石原大士長に交代
	6.	30	再任用職員1名退職
	9.	6	事務連絡車(トヨタ)を購入、本部に配置(更新)
	11.	4	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練のサテライト会場となり、被災地初動対応訓練及び先遣隊運用訓練等を実施する。
	12.	15	指揮支援車(トヨタ)を購入、本署に配置(更新)
	12.	20	高規格救急車(トヨタ)を購入、新富分遣所に配置(更新)
24.	2.	7	消防署新富分遣所の消防庁舎移転用地を取得
	3.	21	(財)自治総合センターから寄贈のデジタルピアノ他幼年消防用活動資機材(楽器)を川南町立野田原保育所に交付する。
	3.	31	村田龍男消防長以下職員7名退職(うち再任用職員2名)
	4.	1	消防組合管理者に高鍋町長 小澤浩一氏就任
	4.	1	消防長に佐藤修三司令長が就任
	4.	1	新規職員5名(うち1名は救急救命士)、再任用職員3名を採用し、職員数94名となる。
	4.	1	宮崎県総務部危機管理局消防保安課へ職員1名派遣(瀬川幸一郎司令補)
	7.	6	九州地区消防救助技術指導会にロープブリッジ救出チームが出場し入賞
	7.	31	軽貨物車(スズキ)を購入、本署に配置(新規)
	10.	22	事務連絡車(マツダ)を購入、本部に配置(更新)
	10.	30	指揮車(トヨタ)を購入、本署に配置(更新)

	12.	4	高規格救急車（トヨタ）を購入、川南分遣所に配置（更新）
25.	2.	25	宮崎県東児湯消防組合職員定数条例を改正し、定数102名となる。
	3.	13	高規格救急車（トヨタ）をJA共済より寄贈、本署に配置（更新）
	3.	31	職員7名退職（うち再任用職員2名）
	4.	1	新規職員6名（うち1名は救急救命士）を採用し計93名となる。
	5.	10	第36回九州地区消防職員意見発表会（久留米市）で、梅原剛毅消防士努力賞を受賞
	6.	3	消防救急デジタル無線整備工事着工
	6.	24	住宅用火災警報器を東児湯地区危険物安全協会40周年事業として贈呈、管内高齢者住宅に配布する。
	8.	22	消防署新富分遣所建設工事着工
	8.	26	水上バイク（ヤマハ）を購入、本署に配置（新規）
10.	2		消防署川南・都農分遣所の消防庁舎移転用地を取得
10.	31		資機材搬送車（いすゞ）を購入、本署に配置（更新）
11.	25		消防団120年・自治体消防65周年記念大会に2名参加（東京都）
11.	25		日本防火防災協会から優良婦人防火クラブとして川南町商工会婦人防火クラブが表彰される。
26.	2.	14	宮崎県女性防火クラブ連絡協議会設立
	3.	13	救助工作車（Ⅱ型 日野）を購入、本署に配置（更新）
	3.	28	消防署新富分遣所建設工事完了
	3.	31	佐藤修三消防長以下職員4名退職（うち再任用職員1名）
	4.	1	消防長に橋重文消防監が就任
	4.	1	新規職員10名（うち1名は救急救命士）を採用し計99名となる。
	4.	1	宮崎県防災救急航空隊派遣職員、石原大司令補から山口真悟士長に交代
	4.	7	消防署新富分遣所新庁舎へ全業務移転
	4.	14	消防署新富分遣所新庁舎の落成式開催

全国統一防火標語

昭和41年度	火の始末 人にたのむな 任せるな
昭和42年度	さあ寝よう アッそのまえに 火の点けん
昭和43年度	あなたは火事の恐ろしさを知らない
昭和44年度	今捨てた タバコの温度が 700度
昭和45年度	あぶない！ 消し忘れ切り忘れ
昭和46年度	今燃えようとしている火がある
昭和47年度	慣れた火に 新たな注意
昭和48年度	隣にも 声かけあって よい防火
昭和49年度	生活の 一部にしよう 火の点検
昭和50年度	幸せを 明日につなぐ 火の始末
昭和51年度	火災は人災 防ぐはあなた！
昭和52年度	使う火を 消すまで離すな 目と心
昭和53年度	それぞれの 持場で生かせ 火の用心
昭和54年度	これくらい、と思う油断を 火が狙う
昭和55年度	あなたです！火事を出すのも 防ぐのも
昭和56年度	毎日が 防火デーです ぼくの家
昭和57年度	火の用心 心で用心 目で用心
昭和58年度	点検は 防火のはじまり しめくくり
昭和59年度	“あとで”より“いま”が大切 火のしまつ
昭和60年度	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」
昭和61年度	防火の大役 あなたが主役
昭和62年度	消えたかな！気になるあの火 もう一度
昭和63年度	その火 その時 すぐ始末！
平成元年度	おとなりに あげる安心 火の始末
平成2年度	まず消そう 火への鈍感 無関心
平成3年度	毎日が 火の元警報 発令中
平成4年度	点検を 重ねて築く “火災ゼロ”
平成5年度	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
平成6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心
平成7年度	災害に 備えて日頃の 火の用心
平成8年度	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
平成9年度	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
平成10年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火
平成11年度	あぶないよ ひとりぼっちに したその火
平成12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
平成13年度	たしかめて。火を消してから 次のこと
平成14年度	消す心 置いてください 火のそばに
平成15年度	その油断 火から炎へ 災いへ
平成16年度	火は消した？ いつも心に きいてみて
平成17年度	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
平成18年度	消さないで あなたの心の 注意の火
平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子
平成22年度	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成23年度	消したはず 決めつけしないで もう一度
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

危険物安全週間推進標語

平成 2 年度	”まさか”より”もしも”で守ろう 危険物
平成 3 年度	危険物いつも本番待ったなし
平成 4 年度	心・技・知・危険物には真剣勝負
平成 5 年度	危険物その時その場が正念場
平成 6 年度	一瞬のすきも許さぬ 危険物
平成 7 年度	確実な 攻守がきめての 危険物
平成 8 年度	危険物 むき合う心 いざ集中
平成 9 年度	気を抜くな 扱う相手は 危険物
平成 10 年度	安全は 日々の気持ちの 積み重ね
平成 11 年度	危険物 一手先読む 確かな点検
平成 12 年度	危険物 守りのかなめは 保守点検
平成 13 年度	危険物 めざすゴールは 無災害
平成 14 年度	危険物 小さな油断も イエローカード
平成 15 年度	危険物 無事故の主役は あなたです
平成 16 年度	危険物 ゆるむ心の 帯しめて
平成 17 年度	危険物 かさねる無事故の 金メダル
平成 18 年度	自主点検 欠かさぬあなたに グランプリ
平成 19 年度	危険物目指せ無事故のMVP
平成 20 年度	安全へ確かなスマッシュ保守点検
平成 21 年度	安全は 意識と知識と 心掛け
平成 22 年度	危険物 事故は瞬間 無事故は習慣
平成 23 年度	危険物無事故のゴールは譲れない!
平成 24 年度	危険物 めざせ完封 ゼロ災害
平成 25 年度	あなたこそ 無事故を担う 司令塔
平成 26 年度	危険物 間違い一つで 大参事

宮崎県東児湯消防組合 消 防 本 部

〒884-0006

宮崎県児湯郡高鍋町大字上江4526番地

TEL 代 表 (0983) 22-1360

総 務 課 (0983) 22-1361

予 防 課 (0983) 22-1368

警防通信課 (0983) 22-1360

FAX (0983) 22-1370・23-2312

E-mail : mhs119@bc.wakwak.com